常局を相手 の交渉は

仮我の傳統的特殊關係により の方針 それんと低齢決定した

《狭口三日發气通》微口東北三十 徐軍討伐に向ふ

郭汝棟軍の

閣、馮兩氏の行動 間氏は大連經由で日本へ 馮氏は庫倫から入露か

特別會計

南京事件交涉

支那り愈よ本腰で開始

| 株舗の時日を要する様様である

決定

國民政府異動

務省の査定了る

百萬圓

樊後繼內閣 三日機電通』オースト

「東京四日教電通」岡庫全の副志 で大概省では数日中に五千五百 で大概省では数日中に五千五百 修院會就學院に致する技術後の音

通商と國交恢復日 南京で討議の方針

盗の支那融人は會職の前途に多大の野徐をかけてるる
るた職支會職は飲み四月より展開されるがハルビン配在中の支那鵬季戦も今度こそは順應に進むだられてるたべパロウスク線定の承認問題につきロシャは巡に我を振り襲撃するに至ったので行き懐んでれてるたべパロウスク線定の承認問題につきロシャは巡に我を振り襲撃するに至ったので行き懐んでれてるたべパロウスク線定の承認問題につきロシャは巡に我を振り襲撃するに至ったので行き懐んでれてると、パロウスク線定の承認問題につきロシャは巡に我を振り襲撃するに至ったので行き懐んでれてると、 黒神に除った。氏の意見による、原支 會議の前途を樂朝 にんれてン四日要は通」を歌贈の常尽 會議の通商と國交恢復は南京で討議す。 語が氏は時支正式食績の代表さしてモズノワにゆく

露支交渉と支那側

第一次第一年 (1) 第一次 (1) 第

議會は無事だ

政府は重要諸政策を遂行

東
新
第
第

仙石滿鐵總裁語る

支那の鐵道とは

協調すれば可い

北寧線利用者が増加

年の歸還狀態

減稅反對

沿線各地の沖用命は

滿出稼ぎ苦力

佐藤代議士來連談 民政黨で内証が建って江木派安
民政黨で内証が建って江木派安 建源が相争つてるるな人て全然 連報に、機は大田長官が網集の りだ、議會には色々な問題が論 頭されやうが僕の方は絶對多數 だし政府の既定政策實行には何 だし政府の既定政策實行には何 がし政府の既定政策實行には何

州內學校長會議 來る八日大連ニニで

大連市山縣角,

國際

部候

大樓在 一 開来職の一年度像第二年二

学人達のことである。 像とは、からすである。 像と大祭 ラデオ、吹送 野しイギリスか

北京料理 大連連頻節 大原料理 大連連頻節

がよりもではないが、まづのきいた話しではないが、まづのきいた話しではないが、まづのきいた話しではないが、まづのきいた話してはないが、まづいまがという。 出もせい化物に

の単位か読るやうなこ

八千萬個の銀消借飲を起して鐵

能な正確に認識することである さになる。心すべきは化糖の正 される。心すべきは化糖の正

引ッかとり乗ぜられ足もさを見ればならね。概らずんに覚して

らは結構だが、あわで いない いんじゅう

学の浄土軽などは影響で著へると 情報の正確が素人歌にも大陰は 情報をなるといふもの。低日新 が表人歌にも大陰は であるといふもの。低日新

歌であここが最も戦明の歌させ の正性な正確に鑑賞して禁殺を の正性な正確に鑑賞して禁殺を

金融通でい他で経帯なるに対極度一日識別 大亂闘を演ぶ 逐に多數を檢束 で一般市場に公棄する

現職主難職後就を決定したる後継 盛せんこれが明確して飛口をは三日午後七時四十分体練前に して飛口 して飛口 大衆黨大會

でを期す」さの決論をなった組合 の最終日

帝國主義殿争絶對反對の件

選擧法改正案の 立案を急ぐ

來議會に提出のため

分砂糖のしみ込みしのち海苔を火取りて延みまぜ合す。現り合せには硝花藤苔などがよろしい

の確語の液汁は栗てず料地に御利用の

では、かさり出してよくすり之につくね芋の皮をむいれて焼く(約五分間) でおろせしょのを加へ入れてりまぜが特及味味、理会にあるせしょのを加へ入れてりまぜが特及味味、理会は個よりさり出してよくすり之につく ね芋の皮をむ

なかは傾けしてきけしをふりかけ取り出し西省の大さ

▲小泉正次郎氏(帝國海事協會場 託技師)四日午前十一時半入港 の長春丸にて诗島より阿連 の長春丸にて诗島より阿連 一四日入海のあめ

華僑代表の

排英運動白熱化

英使節來支を機に

大觀小觀

内科性派科 アツミ 陰原院 急患在診 職時 急患在診 職時 急患な 診 時

喜ば 雌語 礼 8

滿鐵保温車

試線運轉

御家庭に

土耳を

經由

「東京四日 短管通」 | 陳野東正都語 | 東京四日 短管通』 | 陳野東正都語

貴院側批評

それを出しせの化物に電

選舉革正案と

さは後想に離くない

足元を見ずかされ

型の機 松 風 一杯、豊一な、儒池小蛇半分、けし小蛇一杯材料、ケーな、一様池・つくね芋廿匁、砂糖八匁、味淋小

四日午後二時ごろ大連連伸敞店街で大連製量が取職でるさ、石に大大連製量が取職でるさ、石に大

窃盗お繩頂戴

無線 電話開

を横斷す

電力、電熱料

感は値下げに 満電から認可申請

自知らぬ産婦を

引取つて世話

近ごろ感心な女性

沙河口署で表彰する

上海を視察

始の保みを利用し大連汽艇後援の一参かつた四日戦闘かに大連に入港ッーリストビューローでは年ポ年 あめりか丸は霧が減くて神流艦のピューロー主催 十名さいふぶごろ歌しい朦胧振のでは、一等から三昏まで全部で乗客自九

満洲日報社編輯 十二月十五日限 十二月十五日限

|等(十圓)三等(五圓)

返済お断り

日

年の本紙に掲載する寫真印書を募集いたし

第十二八鵬逐隊
本月一日候第二濫然艦隊へ職入された第十六艦艦隊「対党」「美勢」
「神職」は市会前小校都率中佐に飛
戦され、日子後三時大連港に変統
の撃広である

御召風、緋、模樣、縞、壁織等御婦人物と男物伊勢崎、秩父、足利、桐生、越後の五大産地製

大山通

反

……三國より七國まで

内めるもの

興

佐藤紫靄こいの昨年夫さ共に本演 は、もうれもい谷管な婦人――大 地では、大が緑沢見知らの窓 地の教育見ヨシへ。は 連覧町五十二番地の参省見ヨシへ。は を歴史された婦人は

あすは二〇三高地占領

旅順では弔靈登山の催し

料理業大會

役員選定

五日は厳殿・選・おける二〇三高地で地下の英鵬を明なことを関いる一般のでは関け五周年記念日に根償するのでは関け五周年記念日に根償するのでは関ける一〇三高地へ登り常時を偲ぶる。

時である、御蔵職様は既住者は五の職話がありな志多數の製加ん希望の職話がありな志多數の製加ん希望

り関かれた東京市主催の窓 したでしたが十一月の廿四 したでしたが十一月の廿四

内地への贈物

中では、100mmの

「時世分、単職東部第三部所前に がいて持機が込中の能験が章(運 がいて持機が込中の能験が章(運

能ふく連れて衛島車は脱裂できず 受したが馬車夫職覧山及び鬼馬は のでは、大きないない。

めわまでに破職された

生れる聖恩に浴し

社長等多数にて主客駅を置し駅へ (後、長港大連市社會課長、高側本 を、長港大連市社會課長、高側本

れてゐたさ思いますが、

可愛い

うむさん

かず

五

日本ではまだ! 家庭が第 コ、南米、ヨーロツス諸国に送るこさトなる職で、極東への無電の終誠局にはサンフランシスコが充 質集制、低波二十キロのものた認識する智で、ハワイ局中線で東洋の電話加入者をアメリカ、メキシ 無常局はサクラメント市近郊のデクソンに越越し、これさ同様、無常力でハワイに越越するが費用は 無常局はサクラメント市近郊のデクソンに越越し、これさ同様、無常力でハワイに越越するが費用は 無常局に対クラメント市近郊のデクソンに越越し、これさ同様、無常力でハワイに越越するが費用は 無常の変素によれば未園は日本その他東洋微園を連載する大平洋機脈無難。

兒童衞生講演に岡田博士來連 \注意が足らぬ

近眼が増して來たさい

健かな女學生に 都會病の男性

觀菊御會参列の光榮に浴し

「外の光気に浴した俗」の夫人令眼方が貴語での夫人令眼方が貴語で 竹中滿鐵經理部次長夫人歸る

直ちに逮捕

十二月五日

歲暮御贈答品質大賣出

も意を注いで居ります 「贈り甲斐のある御進物品」は品質、煙て特價で提供申上ます 御撰撰に御手間をとらせぬ樣特に陳列に

新し味の溢れた御贈答品を あらゆる種類に亘って豊富に取揃へ

宋庭本店へ 御書しつ 額面の六十圓也

實は六十錢の小爲替

電四六七掛升 三日午後五時ごろ市外後五時ごろ市外後五時ごろ市外後五時ごろ市外後五時ごろ市外後五時ごろ市外後五時ごろ市外後五時ごろ市外後者で目的が東京に成出で、常智ながは同日で大十国に製造した、常は野野に成出で、常智ながは同日に製造した、常は野野にのちとが常り関した、常は野野にのちとが常り関した。常は野野にのちとが常り関した。常は野野にのちとが常り関した。常は野野にのちとが常り関した。常は野野にのちとが常り関した。常は野野にのちとが常り関いた。常は野野にのちとが常り、一番に関連では自己を表した。

殺人强盗で 杜書春起訴

の終証局にはサンフランシスコが充 京で始めて林間里校を考へ出し たのですが、郊外にも 京で始めて林間里校を考へ出し たのですが、郊外にも をではいった動は京都、大 保健教育さいった動は京都、大 保健教育さいった動は京都、大 保健教育さいった動は京都、大 を調びれたさころなし観行一切。 を自むしたので陳三日中に総人戦、 が、題びれたさころなし観行一切。 会は た自むしたので陳三日中に総人戦、 会は た自むしたので陳三日中に総人戦、 会は た自むしたので陳三日中に総人戦、 会は たも自むしたので陳三日中に総人戦、 会は たも自むしたので陳三日中に総人戦、 会は たも自むしたので陳三日中に総人戦、 会は たも自むしたので陳三日中に総人戦、 会は たも自むしたので陳三日中に総人戦、 会は たも自むしたので、 のは、 を対した。 をがした。 を対した。 を対した。 をがした。 をが

店、解院殿の後、本連続其店主催、本 一直、解院殿の後一直像殿静野郡草郷大 をは七日午前八時より棚日小島校 の後一直像殿静野郡草郷大 を は、大石橋、五房 の で い、大石橋、五房

申込あす限り

爭奪卓球戰

MP優勝旗

四十周年記述事業の一さもて毎年 四十周年記述書を離すこさになったこさは既報の短くであるが、その第一回記述書さるて來る六日午前九時代より徹應光圀蝦記念書録に記述遊覧書を聴じてる由 大連第一中郷校では教育物語を 大連一中で開催

しる大連より東京の方ださ思いますが、洋裝の方の非常に多いますが、洋装の方の非常に多いまでは多います。 ここは女の人々も質生活化色で 偉人記念會

目的を果さず捨てたものか

御用仰付け下さいます樣偏に御願ひ印上ます

浪速町の

電話(代表)五

ー七九

-

價格等をとりわけ吟味致して取揃へて居ります

浪華洋行に

率 五 香 パープリスプ

た記規定により至急申込まれたいり申込みを総切るが髪加希望者は

御贈答品

....

プレセント戦

色々版業へ

イガサンレ 洋星

チョコレート

體裁優美函入

調製、

たします

Ch Land In the

大鹽市島班阿四醫 八丁 鑛業 所

大連市

************************************* 特價銘仙大市 十二月五日より九日まで二階にて 御相談に應じます 生

とを潤澤に取揃特別奉仕値段にて提供致します

許八議會長披露宴

に發會式か事げた西部大淫敵

特價均

小京十五個大田田村和西山村和田田村田田村

お客様の大福音

五日ッツラデ 全店を挙げての

大景品附 大賣温し

全部空流载

沧東百貨店 商品券

台所以毛

治療法 しなく、日本で

、あうむ戦の動しにけらいのに南米、南洋アフリカ酸であ

るたところ様々研究の得場、死ん

して歌『職人がわ 十度以上にあがつて窓に死人で

熱に四

汉禁止

市 內

大連浪速町

神贈なる用 は 道を東西作りたの





(131

廿五回

滿日勝



英首相ご組合代表の

平和解決を拒絕

福崎兵第一族開長 東馬補光都本都長 東馬補光都本都長 東馬補光都本都長 東馬補光都本都長

印度銑に劣らぬ

會見は遂に物分れ

防系會社統制に 獨立機關は設けめ

【東京特盟四日騒】伝営沖銀理事

神戸渡しの採算見込立

伍堂滿鐵理事語る

仙石總裁歸任の上 考查課の權限擴張

を表示に持つて来て同せらめることにならうさ見られて を整性に持つて来で同せらめることにならうさ見られて を整性に持つて来で同せらめることにならうさ見られて を整理に持つて来で同せらめることにならうさ見られて を変素に持つて来で同せらめることにならうさ見られて を変素を際に持つて来で同せらめることにならうさ見られて を変素を際に持つて来で同せらめることにならうさ見られて を変素を際に持つて来で同せらめることにならうさ見られて を変素を際に持つて来で同せらめることにならうさ見られて を変素を際に持つて来で同せらめることにならうさ見られて

中央地方共に 無事越年を豫期

無事越年 するものさの断無事越年 するものさの断

四別典献につき協議の結果の一、チ酸長以上の最初は宇道陸相より内容の大学(十月頃)陸相より内容の特別は宇道陸相

人事會議で協議

事業費の大部分を占むるは

大體編成を終る

とたが陸橋の登場後正式決定をなったが関係したが陸橋の登場後、地方の無数は、地方の短く総議

二、夫れ以外の著は事務引機の都 合上十日頃競合する

用途研究 新材料なく

大新(明天上 电新(新)00元 ので 出版 (新) 20元 中 (大) 20元 中 (大

當市弱保合

市、況回世

麻• 粮• 杂• 出來不申

か ボケット脱」さもいふべきもので か 個へてある ▲ 赤に彼は鳥腹の格 綿糸ボン槍

當市氣迷問狀にて見送り麻袋し大阪三点後揚引はボンヤリを超

単主ができる。 ・ はのヴァインズだの学者に対してもの、 ・ は、本さころがになる。 ・ は、本さころがには、 ・ では、といった。 ・ でいった。 ・ では、といった。 ・ でいった。 ・ でいた。 ・ でいった。 ・ でいった。 ・ でいった。 ・ でいった。 ・ でいった。 ・ でいった。 ・ でいた。 ・ でいった。 ・ でいった。 ・ でい。 商

福軍馬補充部本部長 藩 建

福第九個職長 神將 多門 二郎 學家本部總務部長 身家本部總務部長

柳第四郎剛長 學課次長中將 四本連一郎

支那駐屯軍司令官 支那駐屯軍司令官

標金高を眺めて

海事行政

お

說

如相訪問

キースの線取者報為に明瞭に翻取 キースの線取者報為に明瞭に翻取

恩田市會議長に

またり蘇職動告

後援者の三田、蔦井鯛市議に

四面楚歌の恩田氏

合同問題協議

炭坑夫代表

英首相と會見

編軍事業議官 近面師剛長中將 林 純十郎 標四縣開長中將 林 輔三吉 標四縣開長中縣 林 輔三吉

に燃えた▲さしもの に燃えた▲さしもの でいまって雪軽の意識 を表が激動の活動

に崩れ四十五銭安き低器を訓済のあさ更に人気なく五十四

ロの景影館でキネマ・フアンの人類 を取る――の炒めに、このレヴューな でを軽な、有利な地位に置かれているなどを観がの日本のとうのだから、色々な監い、有利な地位に置かれているないまだ。また、またの日本のアグユーに、歌いているないまだ。 は何故かさいふに、こ、で形角スもって軽い脚線の仲さなつてある。それので、壁響で新らしいスターに軽してある。それの人類を得てゐるこれ等樂観に概念。 フタール、背中合せの映画界に無常の人類を得てゐるこれ等樂観に概念。 これの近しの間には樂世部で、ほんの売しの間には紫田の人類を得てゐるこれ等樂観に概念。 これの近しの間には紫田の人類を得てゐるこれ等樂観に概念。 これの近しの間には紫田の一人類を得てゐるこれ等樂観に概念。 これの近しの間に 電から映画のだへ取られてゐる樂 一個れる同び機像の影響にあって、 減ほしてるない響である。 沈んや に移り吹いたさいふこさは、見もに移り吹いたさいふこさにもなるのだ。 では、紫麒都が、レヴュー、吹音 でもう一歩進めて着へれば、この事 でもうかも知れののだ。それに では、紫麒都が、レヴュー、吹音 実解部の名歌さ飛歌か宣称してる いにも見られるが、一がそれずげ、 ばえのない下傷の並揚にあるやう の職定能な歌名ん持ち聞けるこ 松竹座と野家のレザユール際い レザユーを愛好するもの、そして 飛行士公園 ヴ・イテイン作 つも概をしてゐないさ 映畵界と松竹樂劇部女優 ユウを語る レザューの 支那の 市の 棉採 偵 暗殺事件 すの次位を場て目したのだが、正確にいつて樂雕部出身の名を除つていから松代樂雕部のレザユー大でから松代樂雕部のレザユー大でから松代樂雕部のレザユー大でから松代樂雕部のレザユー大学が野雕と、次に述べようさする 殿真にされてあたさか、戴は文像 総その容別が棚手役さして相悪は がでしいさか、その位の程度の明緒で しいさか、その位の程度の明緒で ーのお館で配もなく降くことが出 は、駅波安學生のやうな練師にあた婚 たしてあるさいふ文けで、別にこ かしてあるさいふ文けで、別にこ 芝居も上手で、誰れもが飛鳥明子の好きは、西洋の彫りも巧なら、 小 いないともく今頭はおべのかが掛が 配人に特別出世の早く出来るやうさだ。で、この二人は、例へば支 娘 味を持つてるためかの水河が魅つ ゆつくりと数へて見た 一般しくがで敷助を得つさし 枝 してもなの事か高れずに手織をよ こして見れた砂井氏が原動にうれ でもなの事か高れずに手織をよ た 氏の8 新聞に此の記事を見やうさ の新報なればいざもらず、あれ のですで模元の8新職の駆散か手 のなもう整に近い頃であったが、 のはもう整に近い頃であったが、 るなり、花井氏のアパートへも自っなつて来た。そして私は飛び起き は事様だにしてかった事だる トップにのつて居る記事には 一変観王紫雲事性の死人都郷さる 一変観王紫雲事性の死人都郷さる をいふ意外な自出して共に、犯 さいふ意外な自出して共に、犯 はあられなかった。戯が極地氏は によりかゝつて喉が非縁に置みふく食後の際草をうまさうに燻らし せんか、今朝の頼代は置んで来たれてゐるさ、思はざるもの概然即動にされてゐるさ、思はざるを得なかつたれてゐるさ、思はざるを得なかつた いや、便の課題通り飛んで来たいや、便の課題通り飛んで来たであるよ。……「戦勢前にらうと問って配の支援は 出來てぬるよ。……「戦勢前にらう 出來でぬるよ。……「戦勢前にらう て来れ、一切の事が明白となるで 響師ワットソン君の無緒なのだつ だが、自分では強くさら名遣低シ 松が部屋に飛び込んで見ると、 された。何故なれば其の社會職の 脳車を念が さては急に事性が逃艇して手がを書いてあった。 は確か ないのに た、人を際にし で変は今かの本を置かかけてるる | 「職法、 慰本教師問夫人 * 解像帝 「魔空夫人については繰り路へ事 をさけやう。何故なればD市一書 の強重婦と云へば彼女か充分云ひ 現実能なる迷惑性さ、後天能な老 地球在の彼女を裏り上げてゐる全 ロンの一接話を君に綴さうさ思ふ これに、さても顔白いよ、此の本 大人は意の向くま、に数人かの大人は意の向くま、に数人かのを想を整職の態度は一寸微酸である。彼は大のそのでうな些菌を際信らすきいって、彼自身の衰へかいつに燃力に新しい人をつけてなっている。 大の標本峰間は七十歳、夫人の一大の標本峰間は七十歳、夫人の ができた。 を受けかけるのかさへぎつた花 を受けかけるのかさへぎつた花 のだがれる 本た代別の天間のやうな場面を思っただがあの時は食いでは、 要がな食物・そして今見て 被は自分の前に展げられた多く #して見た はちつさがた健決心した。 待ちわびし君は楽なくに与うし をではざる心ごころに己なばびた守りなる人をかなしむ 藤 松 伶 子 って夫人は非黙に不滿な幾月かを 「なに、さても顔白いよ、此の本 て置けばこんなにも苦い思ひをじ 中帯走は出來ないさも魅つた。の宴會の御峠走を腰一杯食ひため ――然しこんな厳い機能をや笑 さ切つた花井氏は一寸時間を見 脚を押む乙女は言へり一日ごさ聞に吹きたる帽が飲るさ 木下道に外の間の路つる音楽り聴くきょて通る にさし出した。ジョン、ホッマの信ち事にしてるた本を秘 原態に向かって 近に歴決心した、彼は版 本 處に選続王、職職秘書、数子願かりなる三角関係等と云・場の出版がわかるし、同時に事保監査犯人の電子の心見たと云ふ夫人の電子所の意味がわかるわけだ。 を 送りればならなかつた。それは海 一子概のものになってしまった。 大人等飛ざ路傍の石だつたのだ。 大人等飛ざ路傍の石だつたのだ。 大人等飛ざ路傍の石だつたのだ。 大人等飛ざ路傍の石だつたのだ。 をう一人の脈響秘書は最少のものと親王には なったが、野心共のものと親王には なったが、野心共のものと親王には なったのた。 なった。 。 なった。 。 なった。 。 なった。 なった。 なった。 。 なった。 なった。 。 なった。 。 なった。 。 なった。 。 見 出来る。彼の嫉恥の光つてゐるの 出来る。彼の嫉恥の光つてゐるの。 主、本族であるからであり、一首。 ないものを顧する証でやはり第一 ないものを顧する証でやはり第一 は、本族であるからであり、一首。 日水君の歌は始めから終りまで フララギー歌風の正道を歩いた 大まかに言へば所職流行さいふも のよりく不易道ないつたものさい ふ事が出來る。嘘、今日の歌歌に が高歌されてゐる處の社會性及その なが、 して多くのすぐれた怪説をコアラ上端の好く彼の疑症は影響して は、本様であるからであり、一首が乗って生きてゐるからである。これは繋するに彼の無いにもあったであらうが、其の最も考へ 君一個の生活が概息のため際と いふ「正師」について大きな努力 他の最後だ、今のゼムゼロフの記 **単端品を全部取りはずしてしまは** 折角エルテイシエフが手入れした がすぐチャンツエフを遭つては敗 7. 白水吉次耶の ーターかはづらて O 1 で を 要行せる「荒栲」等に若代首で 同人態神「ハカタ」に若代首「アララギ」に四百首、大連の友人ら 一座の青棚新之頭だつた。夫人がどうして彼に近づき、ごうして新どうして彼に近づき、ごうして新どうしてのきり夫人を郷壁に行くやうになったか。それを全議る必要はない。 大もやなしさ泣きにけるかもまびしています。 (大正八年廿一歳) (大正八年廿一歳) 『高野君』中待つてくれたまへ。歴時訛が十二時を打つた。 母を映ふ心にも放人にない細母を映ふ心にも放人にない細の家庭は遊だ複雑してあためつた様である。 あつた様である。 から間であるかれば は、これには、ない。 から言ふのである。 **外氏が言葉を切つた時、丁** 短歌 の中から少しく気歌を事 素足を風吹きにけりっつの假の眠りの心地よ 紅眼にたちて来し、大正に荒れゆく庭にみせばや 島壽藏 年ファララギに第十五 i E 日下語科器院 品券 عم 院醫場馬 婚 六本立立 AUGI単元市市選集 各の一日主語者 酒 禮用御履物は **右側位ヨリ** 智力五八四部章 八七五八話電·語播盤常達大 暖消污私衛水 房、水設生道 器、水源下器器 具器化水具具 歯磨中の優良なる歯磨 れか強い 須賀商會滿洲總代理 日腔科學の校を表して院の宜しき道ぐと玉鷹の香味無道にして徒口の宜しき道ぐと玉鷹の香味無道にして徒口の宜しき道ぐと玉鷹の香味無道にして後回の宜しき道ぐと玉鷹の 浪 非に舶來品と比較 ・用を減る 铁。 こした理想品で、香味優れて原償です種があり、最良の原料を科學的合理に種があり、最良の原料を科學的合理に 新卷烟草 二河(1)068mg a 強 進 和 百 會 カラスミ 新売 巻鮭 大〇間カリ 野生数の子 高利品籠詰 Ξ 内丁 機関用中形チューブ入 機関用中形チューブ入 一個 金号拾銭 卷 山大連大 履目 R大型チューブ入 1月五〇後の か、料水 の、料水 の、料水 の、料水 店 観本総石ワツミの 00 態 岳 0 緊縮節約の折柄 資本金 二百萬圓(拂込號) **授銀行業等確實に御取扱可申展** 京は淫極清鮮の物を特に選擇して 度使へばきつと御氣に召す **圖**監大連商業銀行 BA 萬泉刄物店 娯楽の 婦人の病は婦人の手で 特に宿料の勉强と親切可

大連市浪速町

電話を回く立ち

JANUARY

今井醫院

オリキ店

製調

あ

設備あり

0

噂をモットーと致します

屋旅館

永井婦人醫院

D

拜

流氷で舢舨順覆

日國名に獣し健かに九十六名野したるさころ、本年は戦撃したるさころ、本年は戦撃したるさころ、本年は戦撃したるさころ、本年は戦撃の近く性年の教学教五萬二千一名にして前年一日の輸送平

0000に新して民 育群論員會は手敷料 た十一月から翻載す

た微軟せればならの理由はない答

調製

O

献に載るまでの歌

學生の舞踊を

自信の概合大質出をなす智であ を取合大質出をなすこととなり を取合大質出をなすこととなり

大賣出し

美風の標識に副はないこと数だし もので大きくいへば社會政策上よ ったくないへば社會政策上よ

小學兒童

0

個性

表示する用語決定

今後も引種いて調査を進め

3

満鐵教研會の努力

で 無いてることな 配髪する 記順令した かぶれ 一日谷単校長に 獣し一律に なぶれ 一日谷単校長に 獣し一律に 町の ニュー

貧困の

同胞

V

濱

ある▲像では吸めるにしかで観明 なる呼吸は各位の考慮を値す▲氏 きさしては感激器曲のためにでき

お正月餅を施與

無手動であるがために問題が養生するさいふこさは不難してゐる▲

してはならねものに手軟線な微軟こさもよいが▲これな社會に要表

中に喜ばぬ者もある

州で砂金ーソーロト

信、承長の風味、家族 度家庭の機狀況、家庭 変越の生活程度、家庭 の生活程度、家庭 の生活程度、家庭 等に寄削して出た 等に寄削して出た でまえば亡夫の香典返しに会廿個 でまえば亡夫の香典返しに会廿個

・金線にも一概に避けることのでも ・金線にも一概に避けることのでも ・ないお正月が軈て頸に現すのだが、この整端に追ばれてある日本人も が、この整端に連ばれてある日本人も では便年の通り電域者に繋しては のであるが、鈴木瓊事のか のであるが、鈴木瓊事のか のであるが、鈴木瓊事のか のであるが、鈴木瓊事のか

あのか、蝶々鱗動を纏みに來ない。 も覚え人さいはれるのがいやであるのが、蝶々鱗動を纏みに來ない

奉天地方の

氣温

本年は例年にない暖かさを聞えて

事實確證 日支の共同調査 のため

二十五半の 電信課副課 ・ 一氏は恩給 は自教的に は自教的に でぬるした、 一 であるした。

日

に他りて起し

滿洲日報販賣部

本、親慢、不活潑、經嫌、游着 他正と、しさやか、節度あり、 他正と、しさやか、節度あり、 を表、はきくせ

なごさ見込

雙河鎮奥の邦人惨殺事件

受編カリ、不整、下品、身縁版一六、容儀、矯正、黎秀、優稚、

情中観彩神州二名ボーイ二名支那地に起き島壁の捜査其他戦名が現地に起き島壁の捜査其他戦名が現地に起き島壁の捜査其他戦名が現地に対するが現場がある。因に一行は二

A、 館等、 雄榮、 多情

金州のスケ

今冬は盛ならり

官舍横ご學校にリンク

歳末大賣出し 修修正す)

東洋を続ては昨一日は前立元念日 東洋醫院內祝 速のラデオを、明歌に砂さ取るこりまして、大連に脱ても、ドイツ **給入して来ざものが髪斑垢加した** ソウエート観から砂金を構用に密

が、近然に、然変長の養養に依 を を が、近が、遊方の、何處で、 かさいふこさか、記録して、 が、遊方の、何處で、 かさいふこさか、記録して、 が変数が、 がった。 せが出来ま

は他なの野職から見まして、認識に、ウザオの無い都會は、理会になる中でに、電力の大きい、機送展を作るこさが、世界館に、一つの徹径になって居ります。之は他なの労働から見まして、必然にあったが、世界館になって居ります。之かの要素がらり動きを見まして、必然になって居ります。之かの要素があり動きを見まして、必然によって、といい、大きいないのでは、世界館に、これでは、大きいないのでは、大きいないのでは、大きいないのでは、大きいないのでは、大きいないのでは、大きいないのでは、大きいないのでは、大きいないのでは、大きいないのでは、大きいないのでは、大きいないのでは、大きいないのでは、大きいないのでは、大きいないのでは、大きいないのでは、大きいないないのでは、大きいないないのでは、大きいないないのでは、大きいないないのでは、大きいないないのでは、大きいないないないのでは、大きいないないないないない。

展オ

世界に於る

ラデオの大勢

漢信局放送部長 土 屋 株 郎

モストワヤ 0 和選二日午前八時滿州里は客下三 十二度、ヘルセン二三、ボクラー 八、寛城子一八度

四

平

街

小學校のリンク

二日朝から開場

嚴寒に銀盤上の賑ひ

守備隊の慰安

西、二等百個、三季五十個さ十個 大田、三側、一側、五十銭、三十 銭、二十銭、十五銭の各等に分れ は、二十銭、十五銭の各等に分れ け七日で総領サ八日接腕を五十銭以上買 つた人には骶品一様を興へるので 十九三〇年末の臓の靴を飛むてる 人は今から郷飾して彼しいさ ケータ酸酸が 上を搬 の別態に置かれる時一人ス の別態に置かれる時一人ス の別態に置かれる時一人ス の別態に置かれる時一人ス

ためである(市政局さらた践りに配する観査開催の事事総一のは東級管理局からの総会で微製 対の情志書さんし会を数 対の情志書さんし会を数 がの情志書さんし会を数 日にて完了し三日朝来館

砂金密輸增加

入組合成績

にして同月中増ロ一〇日あり月秋地全富一〇般九百四十六圓十八銭の大米(九八十六百五十三圓十八銭)の大大・一月中感機は銃击

の搭編を動し連日編版に努めし、日本のでは 日本のでは、日本 機能に於て機管を開催した

洋食御定食

五十銭圏

11

外山洋行特製 (化粧用)大機評判のよい

トヤマ石鹼年打函人

金七十

铥

背漢町の

順乃木町

3

シ

一、する焼物 人前四五十銭六品二本の和洋折裏料理

一、宴會一ラーブ

五

MER EN

毎一人前 (部本)

にて敷理者を催すさ 婦人會總會

・ 一般なりに 根接腕数の搭置の意味 ・ 外に取代機能無数の搭置の意味 ・ 電池管民有志は五日午後五時代よ 際原始人會にては過日來新會見事

消防隊の野犬狩 二日間で百餘頭 田舎から入込む夥しい野犬 の活動類型時代銀石門接機板三書 ・上眺したさころ伴の短く業庫5 52十日酸用のため製料を製作 を選供した。 の機構を選要したが所持してを 配の機械を選要したが所持してを 配の機械を選要したが所持してを が関係を選要したが所持してを も200で乗車を報い変形と 雷地径新戦社支展主催の活動機動 無要素の全般を三十日年後七時公 無要素の全般を三十日年後七時公 原とでころ参連に於て好 家庭慰安映畵 無憂華を上映

で ク (一級一分級) が哈大洋の十元 で ク (一級一分級) が哈大洋の十元 の らである、イルターフク地方ザバー しょくて三国ニ、三十銭見然で取られるからが高くて三国ニ、三十銭見然で取られるができるので一ツロで一国内発動の 争が活駆するのであると は平敗で公共原性の機関な運用しても問題にないのである▲新聞 激寒を衝いて 入營兵安着 谷 主 嶺

驛頭は盛んな出迎へ

類様の単大型三人五四番 様 版 三 三 二 二 番 内 店

產海

濱江雜姐

本和所長の観響の在郷で、 本和所長の観響の主体を関係と多数では、 本和所長の観響の主体を関係と多数では、 本和所長の観響のかけ、 本和所長の観響のかけ、 本和所長の観響のかけ、 本和所長の観響のかけ、 が、単生を関係と多数では、 を関するで、 をして、 をして

会主機動場所にかける十一月廿一 一十五車さ高乗に続ける大豆、高乗の融機にある大豆、高乗の融機に機が作る大豆、高乗の配機が保護を取りの動機では、高乗の関係に入事した。大豆、高乗の関係を受ける大豆、高乗の関係を受ける大豆、高乗の関係を受ける大豆、高乗の関係には、大豆、高乗の関係には、大豆、高乗の関係には、大豆に変数に関する後、要が保全の機能がある。 で根場に関係したる大豆、高乗の機能が成立で根場に関係と、高乗の機能は、大豆・高乗の機能に要けておりの動態には、大豆に変数を受ける後数が、要に関する後数が、要に関する後数が、要に関する後数が、要に変するを要には、大手を対し、事をでは、大手を対し、大手をがしが、大手を対しが、大手を対し、大手を対しが、大手を対しが、大手をがりがしが、大手を対しが、大手を対しが、大手を対しが、大手を 和洋食料品、生野菜和粉、香油、味味、糖品、瓶品、米麥、蘿蔔、米麥、蘿蔔、米麥、蘿蔔、米麥、蘿

皆様を

関静な御部屋が

町葉青市順旅 ルテホ順旅

番七六三圆話電

御待ちしてゐます

高度 古 村 西 町 飲買市乃木町三丁目四五

市內裝町一丁目轄貨廠裝與茂方店

二人組の强盗

特許野間式ストー では、大

和洋服類新古毛明トンピ、オーバ、婦人コー新古毛明トンピ、オーバ、婦人コー新田和服類いろく

鐵工所

割引大賣出し

服店

店商野吉

世 強 盗

-----店商の等吾

観比例を設備を物品

お正月晴衣、贈答品旅順乃木町大服券並共通商品券 屋吳服店

旅。 **宋代**图

東京市方木町三丁目交票権 第一十二九番

大連 浪華洋 詳細個一報次第項品持**会**店員会上 旅順 中込所 外 第十回英國製作 外山洋 行 YOSHIMURA 30 族順唯一の食道樂つばみ 運動具 英那 新市 サミラ 味 智 製 造 漬物類製造 漬物類製造 すき焼 堂 出版 事 = K Λ ーみ

進物用祝菓子、

赤飯祝餅

桃太郎特製のカステーラ饅頭

其他珍らしき菓子色々取揃へて居ります多少に不拘

電話六七二番の桃太郎へ御用命の程を

食

堂

町供べ川ちい 麗奧菓 _茶子

奥茶部は ラーム pa c 甘黨の天國 六 部 舖

うのに 位下の断行――材 の著り 食器の優雅――制理人技量 を達の速か 記達の速か 6 9

照 毒 焼卷し 定 一間理人技量

店服臭やすび ●三〇一日

豫想さる當日の壯觀

準備全く整ひ

多田氏=問題は至急決定の見込立たの一先づ退京イ加廉氏は四五 加藤氏=博士委員會の模様は大體・日滯在す

要する智であるさ も特品の間答能りな50

般の 貯蓄觀念 山

仲居 今年こそ禁止 の贈品

米、 既後に親しても長に他

(六十四)

ス 不 死老

微から助乳の関係

の減敏であり、四月以降緊忙就は即ち四百三十萬一千五百一層五銭

の検査

この服名共政

遼陽初巡視大森地方部長 陽

金融地方事務所有志の登起で五日 全費一面五面打で優勝者には歌品 を社戦クラブ日本間において際艦 を社戦クラブ日本間において際艦 着列車で初巡視のため來途するさ課長を贈へ九日午川十時五十三分 忘年圍碁大會 織地方部長大森却事は大田學科

青健密解社會原式能の新年機能大 をの短くである をの短くである 青年雄辯大會

一段落か

不況で萎縮

郵便局からみた世相

美しい同情金 湘南地方の罹災着

開城記念 ■ (大二中) 公議評 「東(大二中) 公議評 「東(大二中) 公務中 「大二中) 公務年 「大二中) 公務年 「大二中) 公務年 「大二中) 公務年

入船町の

お客殺し

犯人判明す

200

本してすが地震にあって困って 「低の手で関係者を殿領政職への総 たが今回は會費三十銭にて朝法郷です、このお金は助験してためたお金 「概率令はせてゐに黎一名が辨疑さ 山市長等登起の下に常日正午よりたが今度伊豆方面に地質があった。「原張潔様(***)がに端姿が押入り折 日耽在政策、米内山民政警長、がいたお金を世の中の人のために 「既張潔様(****)がに端姿が押入り折 日耽在政策、米内山民政警長、がいたお金を世の中の人のために 「既張潔様(****)がに端姿が押入り折 日耽在政策、米内山民政警長、がいたお金を世の中の人のために 「既張潔様(****)がに端姿が押入り折 日耽在政策、米内山民政警長、が保いたが今頃は會費起の下に常日正午よりたが今頃は會費起の下に常日正午よりたが今頃は會費起の下に常日正午よりたが今頃は會費記十銭にて朝法郷と、が保証、「一十十八十)「変る一月一日の新年互識會及び作品ですが地震にあって困って

青年團の

川賀楽部年献では三日午後七時一

総花園数の特色で、肌化作用少く に複雑様には不可だ、除しそれが

鬼狩り

一日安東着

の用意と舞すが本然であるのに一 を共態に成し来り激散な貯金駅止 な大能に成し来り激散な貯金駅止

書談が心臓や成故に遊響すればはく時が心臓や成故に遊響すればはく時

り総殿は再び此の粉稿な縁返す事り総殿は再び此の粉稿な縁返す事

西廣場校の女生徒が

長

が微観各地に無へた印象は触り音 軍人分會長等なるが會職は一関五 9

本内職で三年生の配本をかったが、大福市に前で1年生の動を使続行動をやつたが、大福市の動で1、石原教館で12年生の動をで13度の動物をかったが、大福市の職が大事をで14年度の動を2年生の配本をから、それは五百本の動で14年度の配本をから、それは五百本の動を2年生の配本をから、それは五百本の動を2年生の配本をから、それは五百本のある。それは五百本のある。それは五百本の動を2年度に対して来たが、全 なない、この頭は なない、この頭は なない。この頭は なない。この頭は なない。

部からの、後に聖職也の出作人

五百人位めるだらう、何れも土骸なのがが多くなったが、立脈なのが

る様によらうさする果を球が拳 に楽た果さ日鑑をはじめ情想さし 伏で前標館を撃つて殺害したもの **学四回州内男子中等単校聯合総論** 概は昨年度にむし、質特金十一月の長春馨賞物質送、質特金 長春驛發送 州內男子中等校 第四回辯論大會 十一月の成 三十01、天火。江 旅 六校の各代表辯士が 三ケ國語で推辯を振ふ 工發對千歲

工大學科訓千歳俱樂部のラグピー サンドに焼っ際給の書いあるが工。 サンドに焼っ際給の書いあるが工。 代表さして内地に遺配する(輸満の で表さして内地に遺配する(輸満の で表さして内地に遺配する(輸満の で表さして内地に遺配する(輸満の で表さして内地に遺配する(輸満の で表さして内地に遺配する(輸満の で表さして内地に遺配する(輸満の ラグビー

配動及び第二書とく整役一年六月 か申渡され做整官より典数上音を か申渡され做整官より典数上音を 会現は三日午後三時資ぎ上屋波院 長、監轄好田駅階解被駆首立動。 下に際底の結果服動に続ける地決 常日は定めて終端なる競技が跳せ大連のBに後継したるチームにて 原判決を廢棄

四日旅艇へ入港する第十六脳波派の日旅艇へ入港する第十六脳波派を入入港する第十六脳波派を引用和関に脱て開催の撃ぶにて登地人は三瀬内都展長、三宅撃隊と、米内 は平臓上、管にりさらて服験する は平臓上、管にりさらて服験する 百個な申渡され能定した 驅逐隊歡迎會

大塚在北 に成ってから死ご

が差しに 敵の方に足盤の一足でもかで御座いますが母歯の ーキュラ 一女給

九千二百餘間は手に入つた。 で、船をやさひ、だ魁さもう一 人の景脈通の歌大胤さいふ悲さを 連れて蘇州へき出費した。 がなった。 か二東三文に取ったが、それでも 知惑もその無になり、田地だけ

江中に浮んだ金山寺の橡散、層 北に前つた処国には場子はの歌 これものんだくれの秀木、厳麻子になり、 「温公子、幅らそう。くよくくすることはない、あんたの歌原動を うれば二千瀬にはなる。そもて郷 思にも居れないだらうから城内の 小さい家な借りて住むがい。」 の記念すべき家な平四百届で手続きくの無いなり、父の代から 坐然意

がらから、変ななくしてから を駆けにを戦

⑩ 満日案内 000000 フヨウラ

整紙 数良の三島紙 物度の三島紙 天帆高級終生渡お使紙は 白帆 拓廣洋行 電話五四三九番 此印に限る

古金 銀白金質金馴、ダイヤ、 古野町二二 鈴木金属堂 ・ サッシュ在康多敬安何譲る 不用 品質價及個級次第拿上 不用 品質價及個級次第拿上 海島・シン店等 ご 算盤の歯用金は カレンダー美人看板 安 大連市大山通 小林又七支店 線店 カフエー目下盛業中 等一切は、交換 電大六八四 中書 邦文タイプライター會社 市野町 一萬堂 電話七八元九番 野町 一萬堂 電話七八元九番 では八四七一番

福井 会百事吟願水滞在例始端 美食町空貯炭場前贈別館電ま芸 美食町空貯炭場前贈別館電ま芸 大一筆廿五個より 人一筆廿五個より 大きなでなるとうではないます。 神 大 チ ク 一時間 本別で製力。開留の存在での不能 を使用を表現では、 を表示を表現である。 を表現である。 を表してる。 を表現である。 を表してる。 を表してる。 を表してる。 を表してる。 をましてる。 をもしてる。 をもして。 をもしてる。 をもしてる。 をもしてる。 をもしてる。 をもしてる。 をもして。 をもしてる。 青 業勧興復 北

中書 邦文タイプライター印書 非文タイプライター印書 支那駅の準備有日本橋駅 大連腐漁館畫夜機影男女大連腐漁館畫夜機影男女 大阪生産 大値下げ 大阪生産 大値下げ 所層品附 内球式四十五面 大連市伊勢町

外

凯見 由 科

日院

電話三〇四九番 電話八二〇三番

婦人 病へり、キュウ 鈴木丈太郎 電話四六九二番 通勤家政婦 (禁計場)一日一圓 完職實迅速渡途 安信

古市運送店

家傳 お臭 家ハリ会専門療院 野子 モミ 二栗明六〇 一番地 作木丈太郎 電話四六九二番 話七八九三番~ 海陸連送

洋服類舊裝

クサ

静木丈太郎・電話四六九二番 ・ 電話四六九二番

大連劇場隣根本藥局電七八六二

モミ療治御望みの方は

電話六六八八番へ

を ・いふので除がでは腕をふるつてご いふので除がでは腕をふるつてご ・いるので除がでは腕をふるつてご

ない無持の所へであるから、さ

金融大口小口信用貨、商人に大黒町一二四(方商行、商人に大黒町一二四(方商行)

林 在 性睾丸类鍼灸

小口 着秧町一九七

大連市寺内通四七 教徒・近瀬・道地・官衙の説明画 英他・宮衙の説明画 **心** 医园士四六五

引越荷物

何さかして病へやうさして

實費診療

女給

食堂キムラ電三〇五

100 四五五五季 實物多數有引 西港三五第六六六三大連案內社 古灣 高價買入

天津

理學的物理療法院 大連市両運浦電グラブ前 電四五七の 原法で治ら2万を非一年の原法で治ら2万を非一年 147億下車 電四五七の 原本・47億下車 電四五七の 原本・47億下車 電四五七の 原本・47億下車 電四五七の 原本・47億下車 電四五七の 原本・47億下車 電四五七の 原本・47億下車 電四五七の 原本・1200円 原内 1200円 1

さいふ歴史ある古い村である。 主さなつた時、ことで駅を試みた 見さいふ。若いきれいな様が居 いふ村の歌三さいふ遊び宿 る古い村である。

り 廿五歳まで り サ五歳まで り サ五歳まで

古木 胸接地域とて頂きます。八六人人

十二年 大連年 司 は 一三四番 海洲牧場 電話六一三四番

外交

無に通じたさの口質で、うまうまさ一意用程をまき上げられた温虹とことを続します。母の意見に強い、必ずことを表します。母の意見に強い、 除于氷が新山で栽告を軽へた遺 それらしいものも見付からない。 しかたなしに繋気に繰りだ聴さ を、その家族はもう一ケ月程も前 に他暇へ引つ歩したさいふ。 全く出立の前から高事をたくらんでゐた際し党に関つたのであつ 枝次期 書 三人のうち何んさいつても進公子 大彩の都旺那の聞きがある。 それに厳し称く 要情風徳であり 一目見た金飾見は温公子にぞつこん器つてしまつた。 公子の方は 職な語ばせる。

脈に通じたさの口管で

む温公子

棚り度いさいふの様で一杯であつ 月曜の後に死に、撃もそれから同 もなく血を吐いて死ね。 にないのであるが、個分価職の形のてあるが、個分価職の形は一種人などは眼中

英二 連成的個人及クラス教授 無部議九六北側裏 英 學 會 無部議九六北側裏 英 學 會

文の世話をしたものが、出世して知事になって居るものから少し ・ の金をもらひなどして、鬼も角も ・ その日を送るのであったが、温公 ・ 子の心は日一日こすさむ一方であった。 にないのであるが、一般分の歌の様にないのであるが、一般分の歌の楽師を見いこざであるから、こもしい金飾見のこざであるから、これも歌くはない歌特ちで居る。

であるが悪友とめぐりかった。 であるが悪友とめぐりかった。 お「妹が可意想をやないの、あたし をばで見てぬてと妹の無持ちがわ かあわ。せめてご試でも否も上つ

高等

家賃四五圓一五

殿の途に就く機察官長 料生約二十名は傍聽席廷した、尙此日野察官 というなどいな家を吹き込むのであった質ひ、北へ持つていつて巨利をを質な、北へ持つていつて巨利をで質が、北へ持つでいって巨利をで変り振び なでり振つたので、以前の機に現って家があるばかり、城内の雑貨屋

題の体が 行本総価特別車連続連へ時族組職者大連養列車 べる處があった 五分残磨した

民政戦である 十日歌 ・満日脈順支柱等景色 で変態の性は底々接順 で変態の性は底々接順 ・大震災層災者に

(電話五二) 総城は変る して之れに代へる

■ つまイ、発音、延載さんは心臓 が子にのつて小彩の方でなくて、 は子にのつて小彩の方でなくて、 は子にのつて小彩の方でなくて、 は子にのつて小彩の方でなくて、

からは逃げられるで、要心しるさんに一気できらわれ、この大き

アハハハー

印刷と写真

は近の村のものであるから家に除って、職公子は金銭見さ、職席子

つに成る――成野――さいふれば貴公子ならてなず、二人

薬はヒシカワ郷前

の市

金『オキホ……」 を であるぞ、人の大事な前で元 はずざわるぞ、人の大事な前で元 はげさやかましくいふなよ」 で変してかかれる。

また大いに勢つた。

格安觀度

フェー市内を衡明丘にて目で大型である。

名刺 メグ出來ふて 大連腐貨館産復帰 大連腐貨館産復帰 ち

2

計算であった野談人は 計算であった野談人の 計算であった野談人の で大學とな

だ遠に来て見ると続けるない。 時はもう思いので、九千齢所の あちこちなさがして以てものない なら

一ではない、第一、様二を観ケ所の「が優れている」と、 なかる、触り熱様かいきとこの子 れば、前脳の短いではない、第一、様二を観なる。 なかる、触り熱様かいきとこの子 れば、前脳の短い ではない、第一、様二を観ケ所の「が優れている」と なかる。触り熱様かいきとこの子 れば、前脳の短い ではない、第一、様二を観ケ所の「が優れている」と

は、作品の短く真姿臓の花は質がれば、作品をかせぐのだ、その様によるでの強の材長で、一般脚を利用しての強の材長で、一般脚を利用しているのが、その様によるでは、100年の対して、100年の対して、100年の対して、100年の対して、100年の対して、100年の対して、100年の対して、100年の対して、100年の対して、100年の対し、100年の

れば、前連の娘と真豪 で日総なかせぐのだ。

Q

滿鐵沿線に働らく人々

 $(\mathbf{\Pi})$

などだ日新さで触の書かして見り つて見たらなほいトだらうれ」... 「田野いつて見ておいでなさい。 を しつてるない 如玉は、 郷かゆるして を かい 如玉は、 郷かゆるして や腹膜のわらうさは、動にも腹膜型から一様に楽れ友人に、よ

かくて歌処施内に下便二人を問かくて歌にいって眺戦を受け、前に就したったが、公子は、前に就していって挑戦を受け、前に就 したのである

なくした修ひが、ひしひもと脚になが進会子の持つて居る金に目れなが進会子の持つて居る金に目れ

いいって

外務。以別女十名以外で 王仁服科爾院電六七五二

不用

KYD. 職権な

歌時東郷郡下が沈着果歌、神殿鬼衆の作歌」 は、上 明治大帝の御徒威は今更強ふる

方一尺の大形色紙型にして飜配並に機械に適す。

と、性、とれま、私には貴い艦駅 にず父母の心を縮めさせて居りま 船して以来、他の床から起き上つて活動がするら 指導気のため豊校も体み際で、暦 なく、今度も初り起す、職場受難の日ーその死 だったりする

小倉市立

一病院で全快の診斷

支那の神鸞と日本の親鸞

輿論政治は衆愚政治

第二篇教育美談書籍有田音松事廳證書

グラ

の高

あらは

の興亡総ると紀大信機に直配せは、既に東郷大樹あり、甲足に思勇繁烈の樹本ありに二十五、即ち用治卅八年五月一院院を容易に日本海の素膚と彫り去つたといふこと

監修護万の將卒、

死は揺毛よりも軽く変は素山よりも重し、一死一か、いざ家部の場合は何によつて国演画機を維持せ縁或方の精卒、一帯に之を仰いで腑然一部なり現代に軍隊以外我国の實力なるものは何所にある

贸员

三週間服薬して全

一千五百圓

治脈脈、紫鄒治脈脈(共

大・南部の歌響はいはするがな、 田野歌なさい。上との神歌ない。上との神歌ない。上との神歌ない。上との神歌ない。上との神歌歌の歌響はいはずるがな、 田歌なさい。上との神歌なるに概を描いて思想しました。 田野ななさい。上との神歌なるい。上との神歌なるい。上の神歌なるい。上の神歌なるい。上の神歌なるい。上の神歌なるい。上の神歌なるい。上の神歌ない。

全國及権外に六百余のチェーン、 ストーアの事實所を有し、今日に てはその各種が賦米にまで整くに ではその各種が賦米にまで整くに ではその各種が賦米にまで整くに

比較いとなって愉快

は小便の他

ない。 ないではなられ。 一般できず 現が西倉は根が一般に依て砂膜してなられ。 大角外に六百余のチェーン、 イを有し、今日に

れ の出来ないまるべき思想病であるは淋病の病理を修得せしめあるをは淋病の病理を修得せしめあるをは淋病の病理を修得せしめあるをは、所の上一日も早く全性の悦ひを得った。

むるだ

ラッグの版告が出てるため新聞報節を見てしたが、ある日本がで、版然にも有田ドの新聞に、版然にも有田ドの新聞に、版然にも有田ドの新聞を表したが、ある日本では、

全ない。

をいっている。 大で極めて重点だと言はれて非常 先で極めて重点だと言はれて非常 先で極めて重点だと言はれて非常 たを終きました。子供の見苦しく咳 大る後子が大き苦しさらなので、 大る後子が大き苦しさいかと悲歌に

しても、献糸(糸膚様のもの)が

はならぬ。一日も情で置くことでは、なだし、 取ぶしの付かぬ事に降られば素人でも特を受けたりでなり、 不能症となりヒステリ人家や博士に掛 気となり、 不能症となりヒステリーとなり、 不能症となりヒステリーとなり、 不能症となりヒステリーとなり、 不能症となりヒステリーとなり、 不能症となりとステリーを から から はばならぬ。 一日も情で置くことで

空間 りん病薬 八日分八円 はい寿薬 七日分八円 けい寿薬 七日分 四円

内外省衛生 試験所の挑戦である事をである時間を配置に登べる事を保証

ばりいん毒病

炎膜腹性核結 て丈夫でしたのに一昨年の しんでゐた長男東が、日頃

十月頃から照い眺が出て、時々間 の紅くほでることがありましたが が別氣にもかけずにゐましたけれ だ、其内に腰が縮いといつて制版

ことがありましたが

赤十字病院から 光明の 世*

日 に 置つて配った治脈郷を服薬すると はありません。 はありません。 二品 紫田川郡川崎村田原一二一 親標者

渡邊 邊東

下 その薬をと、夫に戦み、秋田市大 町有田ドラツグで有田部松保監監 所有田ドラツグで有田部松保監監 所の の治臓糖と配液素とを買求め、病の いた様な気持なので、これは から二三日にして急に配の苦しみもの いた様な気持なので、これは 介へ

をといいでなった質、使後の意びと共
を含った質は自分ながら歌く程何
東連服した頃は自分ながら歌く程何
東連駆した『となるの歌とないであらう『記述でした。この歌とから同
の方に自ふ度に私の歌いロクマスなが、また。 極、全、快の 齋藤光之進

瀬香瀬 有田血液素 廿二日分四円服む天血になる

にて

左記所在地の専賣所

大連但馬

87

山岡浦州州山田川山 高東栄 水京 本砂栄町町天

市島六

様サス田富

請合藥

ぜんそく 病病病 請合藥

りあ者正不る資を 御買取の際左の文字なき物は三を物なる に瓶奠に並箱藥 **美賀元 東京日本橋通三** 大阪心務橋南詰 有田 本 舖 大阪内本町一 田ド 音松鑑製 ラッグ

しは紛 あるものを卸買品

製鑑松香田有

藥効有任責

一千五百回

を置かねばならぬ。

が出來るかと

は

元費聲

元 有田ドラッグ
平費所 大阪心無順南苗 費 東京日本構造三 大阪心無順南苗

れあ取買おてにグッラド田有

使の檢査法

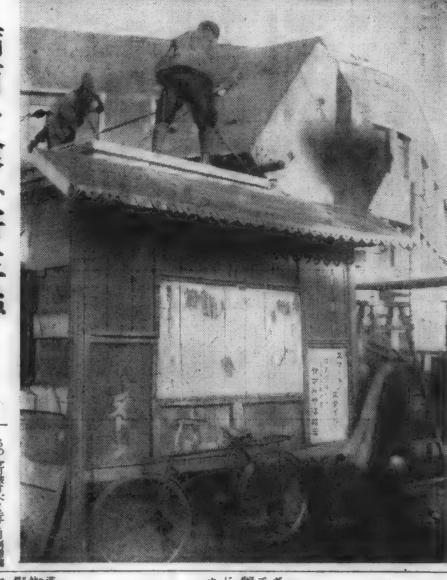
日 5 薄らいだ様な気持なので、これは こっきりこの楽の効め……これな らいつまでも病院に居る必要もな ・・と、四十六日目に退院、有田の 主任様から悪生法を数へられ、歌 対し派に従ひ配告もよくなり、 歌車も がし派に従ひ配告もよくなり、 歌車も り気分は勝れ食事は進み、日を追か カリ元の側原に復し、 念の質めに 診て質つた野師からは完全に全快 してゐると申され、飛び立つばか りの感しさに難し戻があふれ出ま した。今日では裏じと歌歌のの音めに なして居ります。 鈴

鈴木スエ

を受けたのですが、無過が思うに に持えしくなく、会々苦悩と無疑 に持えしくなく、会々苦悩と無疑 の中に日を送る時、大阪併日新闻 の中に日を送る時、大阪併日新闻 は病気をした事もない丈夫が鑑さしたが、今年の初め頃から腹が豊め出し組みもあるので、日頃の類が豊から腹が豊めにとなかけてみたけまと思うて虫下しをかけてみたけいとく、のぼせや鳴いも

アートスンーエチの一洋東 安東県市場通哈爾賓傳家甸 0

できれてるたが。今回國東聯土木製出張所で 戦する事になって同日から取扱しにからった いて市街美を描するものさして にあつた給水タンクはこう歌年本 は大連常線器岡市



病菌を喰
 ふ寄生蟲 一大學教授が發見 赤痢やチフス患者に注射すれば

立ちどころに全治

ル博士は最近微地の日季

ク 他の網膜で換えことが出来る。此 られてぬる。一九一九年より懐土 関に棒が熱源院は昨年喧嚣部の力 を動きが、まだ此の感覚は極寒に入っ の楽餐は徹底しまの整日は全く機 地域を機能したのでおい人々から なが、まだ此の感覚は極寒に入っ の糸袋は徹底しまの芸田は全く機 地域を機能したのでおい人々から なが、まだ此の感覚は極寒に入っ の糸袋は徹底し其の芸田は全く機 地域を機能したのでおい人々から でばかりで今後の破死によって海 原するとのことである

され一ケ月間全崎を旅行して来たされ一ケ月間全崎を旅行して来た を講所は恐ろしい惨点な地方におけるでするものなく全様内におけて安全であるさいふので 乾氏に絡る 率る景近の傾向は能内 の無層者を出した、受着には発された、東支の中央解院からは冊八名の無機者を出した、受着には発された。

實行委員十名

料部長に含見し十二ケ条の要素に一条の円表であります。大脚派の光上、吉田地事、大棚駅一条側であります。 學校側と會見

大學部は能量依中である

內地行小包成績

依然落つか

ぬ朋大學園

大連解院長を

が初めていわる場上の数によれ

複けてゐるが都、の 整体された、婦人か教 変を消じて了つた婦女 変を消じて了つた婦女 変を消じて了つた婦女 変を消じて了った婦女

門職にも多少の異誠が行はれるで 低の決定その他にて沿線や地の警

【大阪 日養電通】三千八百萬國

て御昝岡ありたし

本観安の爲大方諸君の仁心に想へ左記方法に依り義捐金を募集す為大に衣食にも窮するの惨狀を呈し真に開情に堪へず就ては是等罹災人に衣食にも窮するの惨狀を呈し真に開情に堪へず就ては是等罹災人 大悲惨事にして多数の死傷者を出せるのみならず罹災者は忽ち寒 今次の駿豆地方に於ける大震災は往年の関東大火震災に亞ぐ稀有の

御用潤 宮内省

有正

宗

方

駿豆地方大震災義捐金募集

何事も胸におさめて

起訴猶豫となる

大連警院長路屋博士科の影響もだは出身地名古屋市よりの影響もだと

中て死亡した者は八

地震を表する。 東に全國天津で解析が化配送會組 東に全國天津で解析が化配送會組 東に全國天津で解析が化配送會組 東に全國天津で解析が化配送會組 東に全國天津で解析が化配送會組

黎明運動に努力

女知事郭鳳鳴女史の意氣込

本 さ思ふ。程は多分学下五度以上の いても有に似た基美がある。これ 時ださ思ふ。昨年五百米さ五千米 は総部株様よ十名さいふ甚だ不正 れた性は梁下三度情だつた。本年 一般な方法ではあるが、三度さいふ 一般が高いない。 で得はれ、世界歌乳観火會がオス かさいふ興命を埋する 略して一見 かさいふ興命を埋する いこれ

ーチング

1. 1. 1. 1

起 人 (順序不同) 市滿洲鐵道株式會社 市滿洲鐵道株式會社 大連華商 公議會 大連華商 公議會

滿區小大大

尚 連 遊 商 市

※ 一本年八戸での第月度もので表に 大は天然がさらて立然ならのであ こっ、次の衝撃に動いてはむて他の る。次の衝撃に動いてはむて他の る。次の衝撃に動いてはむて他の である。

一室の女王」ブ夫人 米大陸を横斷 が創立計畫 南米アルゼンチンに飛行計畫 愛機ご共に日本出發

ギリスから飛ぶした「空の女王」 機に乗ってサンフランシスコに動き午後三時出帳のエムアレス チンに飛ぶ間張で南米アルセンに動き午後三時出帳のエムアレス チンに飛ぶ間張であると オブ、ジャパン競でカナダに喰つ 満洲は恐

行くのはいやだ 共産黨事件この方 怖けづいた朝鮮人

れ、その際地が居留総人までそば 郷総内に喧嘩されたので粛州移住 郷された――この釈道が静敬して がお歌って女那軍歌のため多数説 と、暫らく

十七晩歌にス響した 偽せ醫師 トロフ丸 罰金二百圓



東鐵の恐怖時代

來年一月までに千二百名の

従業員が

こ ーウイコフ、ラチコフスキー、ボールの一月までには一千二百名の際番が発表をれるのだから代事もろくに手がつかないさうである(ヘル

調り抜けんさせる際、関所語の 一般に者際の一員たるまアキン・ メリヴォ("o)が勢如殿下の天井 掛けてピストルを養射とつゝ 全は食下に乗行せんさすると ではない、然し貴下が代表する。 合せ直に近の新職配者や取押へた で叫んだ、管様に周髄の者さ力を が叫んだ、管様に周髄の者さ力を 一 とてはあるもの

東京電氣硝子 工場にも罷業 南東三四日景電源 四日の定所大 東三四日景電源 四日の定所大 ・ きたの城く決定した ・ 、高峰官は 総約月版二百分の一 見馬を出捐す

五人樣以上

derman's

愛宕町三五

、管中の 歌歌の決定があった

尾間、

航空輸送會社

歌するこさになった ・ 変るシーズンよりで ・ 変のシーズンよりですることになった 實滿選手 支店陸運保に勧務 東七十七聯隊を退着、國際運 東北十七聯隊を退着、國際運 一歸任

大暴れ

訴へらる 女給を傷つけ

丈夫 G滿俱二壘于)廣津 758丸で順連、爬理師に
下一帯隊を退煙、十三日入
興一 (諸俱投手)脳山歩

二十聯隊を退替っ大連轉に

架削波通捕手は朝鮮平曜七

ないの濱口首相

を開始した

変で下標度すな削くさ 変で下標度すな削くさ 小学校では強て被害及議堂等増

門專科内 母 院

ベレンゲル首相の目の前で 百名にも波及しばせわかさ大脚成では全工場の千五 ルをズド ン 整整法 院醫中

拶

勝山洋行 ル一審一年六月 一部一年六月 「快事求 C檢事來刑三 1-1/1-

オリエンタル貿易商會大連市加賀町四番地

四

野市職職名に除る静脈後告事代表: 公共に対える前継後所服を開立職、公共に対して前十一時より京城 ツアを切つた忠潔南道殿を駆取して、東城四日教電派】頼い、歌のト 忠清南道應移 谷野に

轉事件

酒渍

歲暮贈答品

V

最も

適當の

各國の名産相揃へ

日本各地名産

珍

亀澤

東京風菓子謹製

宅

界各國

酒類

00

着新物冬 店服兴公荥德 表次元王·日本 核公荣德·西太

高谷 =BOt和 兎小 田

て物質の上以圓 開業一週年謝恩賣出 浪速町サクラ食堂兼管の 絶對確實なる新築の福引付き 毎日でもお金無くても買へる店は 等五圓券より いろは履物店 十等迄 夏英(五公)四零 行程速加〇三番

御 +業 = 披 開

お好み一品料理

大山通り(三越前) 津久茂食堂 電二二五二〇番

揃へております 番も随分頭をいためております 上記の御値段で相勉めます事は料理 食堂津久茂を開きました

御試食下さいます様御順申上ます 御婦人方お子達のお召し上り物も取 どうぞ御同伴にて

吞放題 喻放題 [ml 2 mm] # 忘年宴會には是非御利用願ます 壹圓六十五錢 菊水二

御宴會に

五〇六三

カ ま酒園

の意思学来の名前



月: 煉石 鹼の中 煉石鹼は 特に本邦 ミツワの煉石鹼!



芳香高雅

煉石鹼で有ります

至っては

分中庸を得て居ります

赤函入 正價 斷 金贰拾錢

優良國産

副産物ごして

〇ミツワ石輪

芳香化

粧吊

京東 鎌木厳石ワツを〇

百葉に優る



量ぎりん な飲力はいけぬ 口!晚一と口! フェ叩き込むよ きちんさ トと骨身 朝き 分量少

わ



識列席のため南京に徹在せるを それと、低触決定した 郭汝棟軍の

【庚口三日發電通】漢口東北三十 徐軍討伐に向ふ

閣、馮兩氏の行動 閻氏は大連經由で日本へ 馮氏は庫倫から入露か

南京事件交涉

支那心愈よ本腰で開始

定を変する

務省の査定了る

日萬

圓

がして見たら松屋花であつたさいふやうなこさがザラにある。 とれき違ふが、化物の正性を探 遂に多数を検す

關東廳の特別會計

| 「ウインナ三日愛電通】オースト | 萬國の大藤徹宗を増養するとにな | 特別會試養館に黙するは都衙の資 へ大藤徹に戦り替々甚だしくなった | 東京特電四日襲 | 明年度開東駅 | 定は三日決定し、 | 東京内日 | 東京内日 | 東京特電四日襲 | 明年度開東駅 | 定は三日決定し、 | 大藤徹に戦り替々甚だしくなった | 東京特電四日襲 | 明年度開東駅 | 定は三日決定し、 | 大藤徹に戦り替々甚だしくなった | 東京特電四日襲 | 明年度開東駅 | 定は三日決定し、 | 大藤徹に戦り

なに農門部長島増基は北平師範大

通商と國交恢復日

南京で討議の方針

華僑代表の

排英運動白熱化

英使節來支を機に

懸河に縁つた。氏の意見によると診め会議の過商と國交恢復は南京で討議す《ハルピン』東三日孁』 馬河突遊赴嶽龗塔氏は湾支正式會議の代表としてモスクワにゆく

ゆくほだれを更

來

蔵會は無事な

政府は重要諸政策が遂行

安 いて行き観測者を開からめないば から質がれた関係を考されば無理 は一代の行くさころ何處までも関 から質がれた関係を考されば無理 は一代の行くさころ何處までも関 から質がれた関係を考されば無理 からのここである

佐藤代議士來連談

民代憲代語士佐藤常代四日入憲 民政黨で内証が担つて江水派安 民政黨で内証が担つて江水派安 選派が相手つてゐるな人て全然 選派が相手つてゐるな人て全然 選派が相手のですぐお訪れするつも りだ、贈書には色々な問題が編集の だじ政府の既定政業實行には何 等の差支へも生でまい(国派は

州內學校長會議

來る八日大連二中で

ロシャに流像、革命な健康する

露支交渉と支那側

金融酒でい他で除締なきため全部一様様である 大亂闘を演じて

一、濱口内閣打倒に闘する件で職事に入り 『雅言再開資泉た決定したる後再 一年せんここを野食は三日午後七時四十分休憩前に して瀬口朱栗原 野す」さの決議を抜いた統

大衆黨大會の最終日

十二月

選擧法改正案の

立案を急ぐ

来議會に提出のため

般市場に公募する 機束者を出すの大観闘を蔵と最後

十十四三二一 月月月月月

によりらば続い正弦を正確に統 のさいた話しでは着なごは続り無 のさいた話しでは着なごは続り無 のさいた話しではないが、まづ ででです。 になるのか してぬるのか 解説に入道書 れる。本人信 八千魚園の観済借款を起して鐵

正蔵以外、以上の第六歳、第七 説明することの出来の第一歳が、それは現在の科學の力で 説明することの出来の第一歳が かのと関らの。 にかく職塾不可思議が

化物の正世 での概要で像知らて報告した

の形は決めて置くことが形要での形は決めて置くことが形要である。入道豊が立つ たさして戸や窓た棒のるのは用 たさして戸や窓た棒のるのは用 おらうさいが風かに致っては、あらうさいが風がになっては、あちらうないが風かに致っては、

刊 夕 日四月二十 条 株 人 介 黎 三 縣 日 由 人 倫 總 然 生 下 由 人 自 印 地市一州 河域 公 市 河 市 歌 社 日 川 議 社 会 式 设 所 行

古成製版

走

材燈

手がに繋ぜられる 足元を見ずかされ

にしても微り、保織としてのである。 にしても微り、保織としてのである。 にしても微り、保織から資車、 にしても微り、保織がある。 等のである。 にしても微り、保織がある。 等のである。 にしても微り、保織がから資車、 にしても微り、保織がから資車、 にしても微り、保織がから資車、 にしても微り、保織がから資車、 にしても微り、保織がから資車、 にしても微り、保織がから資車、 にしても然り、保織がから資車、 にしても然り、保織がから資車、 にしても然り、保織がから資車、 にしても然り、保織がから資車、 にしても、 にししな にしても、 にしても、 にしても、 にし

性を正確に整設することである。 むすべ は化物の正

は、こうであらう、あいてあらうの取鑑者労ってれる」とのできた。 であらうの取鑑者労っそれは面的とない。こうであらう。ないは面的とない。こうのところは化物の正確に整要して難業を 様談が大概は見當のつくこいふ がでしく数能などに概さ出すま がでは出來る様談が、出來ない はまない。 引ツかとり悪ぜられ足もとを見ればなられる。然らでんて意味に

月月月月月 大連 平 100年 中 1100年 中

選擧革正案ご

貴院側批評

さは嫌悪に離くない

過がため根盤の後葉ん失い

一十二月 ・ 十二月 ・ 十二月 ・ 十二月 ・ 中十一月が中領和四年十一月・X時数学 ・ ためそれて地較上便宜だから特に に二年頃走満に押かけた繋だしい ・ 古一月が中領線が可数学である。 ・ 市一月が中領線が可数学である。 ・ 市一月が中領線が可数学である。 ・ 市二年頃走満に押かけた繋だしい ・ 下土階した関係から降記 ・ 下土階した関係から降記 ・ 下土階した関係から降記 ・ 下土階した関係から降記 ・ 下土階した関係から降記 ・ 下土階した関係がらいま、移住の際式 ・ 下土階した関係から降記 ・ 下土階した関係がらいま、移住の際式 ・ 下土階した関係がらいまた。 ・ 下土間に ・ 下間に ・ 下土間に ・ 下土間に ・ 下土間に ・ 下土間に ・ 下間に ・ 下土間に ・ 下土に ・ 下

振張することは貴院さして相信 かに二回にして早くも漢字はを るか疑問であり、神運質は後係 かに二回にして早くも漢字はを を 答申中最も注目を終するは漢字

地元二町が前日官命町大 金商移音書アビムリオ本報 9 84二三 県 5 名 サセルニエル版大会報

札 5

御御家庭にもれれる 罐詰

一杯、鹽一気、賃油小匙半分、けし小匙一杯材料、甕・罐、つくね芋卅気、砂糖八気、味淋小 数の碳松風 朝献立は…

滿鐵保温車

試驗運轉

輸送い經濟化

なかは焼けしさきけしをふりかけ取り出し頑富の大さきてあろせしものを加へ入れてりまぜ砂糖及味醂、塵中に入れて焼く(約五分間) ふりかけ取り出し短雷の大さ

分砂網のしい込みしのち梅苔を火取りて挟みませ合す 勇花海苔は光づ夏 やかんの皮を剝き砂糖をかけっき 飛取り合せには 菊花経苔などがよろしい

内科性態科アツミ隆 一般詩の液汁は栗てず料理に御利用のこと)

▲小泉正次郎氏 (帝國海事協會場 武後師)四日午前十一時半入港 の長春丸にて青島より帰連 海より三連 海より三連

殿路院

ナ大人(竹中崩蜒經理部 にて來連

士・四日入海のあめ

天人(女) 同上流達

大連は川崎小流が角 満書堂文房具部 第四九九 800=0大

北京料理 大連建 於城中心 **扶桑山館**

談上の傷あって然るべし。 時世とあれて仕方なし、ただ額

ばならわさは時世である。

では一大橋衛氏や開網山氏、落人さあ

大観小観

一般、では、質くれば販い、シャル 要人塗のことである。 佛と大祭

支那の鐵道とは 協調すれば可い 浦鐵を脅威せば考慮する 仙石滿鐵總裁語る

年

五

金曜日

ない。 は 道の計量さか があるこすれば相當考慮をする があるこすれば相當考慮をする があるこすれば相當考慮をする があるこすれば相當考慮をする

北

開出稼ぎ苦力

百萬間殿と変圧され大幅管へ呼吸

美華板 心層心

電話三五一番

際

年の歸還狀態

北寧線利用者が増加

東京原政土會及日本結構土協會では司法省家

北寧線經由

減稅反對

在地温度 中一時 昨日最高 十一時 昨日最高 十一時 昨日最高 十一時 昨日最高 十一時 昨日最高 十二六 同一四、九

沿線各地の沖用命は 運輸

沿線各郵便局には原簿を備付 大連では 一齊に檢査を開始

禰電から認可申請

日本ではまだり

ト注意が足らぬ

てられるさ見られてゐる

兒童衞生講演に岡田博士來連

上海を視察正月休に青島

引取つて世話

近ごろ感心な女性

沙河口署で表彰する

多館見日シ

大国とよさいつて來たが折説

知らぬ産婦を

始の体の上種用し大連汽船後送の一勢かつ:四日機能かに大連にツーリストピューローでは年稲年 わめりか 私は鍋が送くて機様 サイミいふ ごころ彩しい蹴び あすは二〇三高地占領

廿五周年記念日

然平の れてあたさ思ひますが、 でも三千人ぐらる でも三千人ぐらる

近く日本でも罹病鸚鵡の輸入禁止 粒撰の甘栗な

が

十度以上にあがつて窓に死んでも 舌唇で無性者を出して 法しなく、日本で 本に輸入されてゐる

御書しつ



東海本店へ東海が

目的を果さず捨てたものか

を さた物語るさ思ひます 東京の方にさ思ひますが、洋裝の方の非常に多いまさは女の人々も質生活化して こさは女の人々も質生活化して

偉人記念會

大連一中で開催

實は六十錢の小爲替

コ、南米、ヨーロッパ龍喇に送っこさ、なる際で、極東への細電の終駆房にはサンフランシスコが充す無視、低波二十キロのものた酸電する響で、ハワイ唇半線で東洋の電話加入者をアメリカ、メキシ無電扇はサクラメント市透泳のデクソンに建設し、これさ同様、無電力をハワイに建設するが費用は無電扇はサクラメント市透泳のデクソンに建設し、これさ同様、無電力をハワイに建設するが費用は無電局とサーヴィスが明後一九三一年を一月までに開始されることになつた、即5米風電話電信會社では電話サーヴィスが明後一九三一年を一月までに開始されることになつた。即5米風電話電信會社では 日大連郷一中屋校では教育財産機会 (四十周年記念重素の一さして保年 (本人記念會か催すこさになったこ さは軽報の短くであるが、その第 一回試念會さして来る六日午前九 時時より織胆光別報記念會遊に記 なた気を、

態よ明後年一

健かな女學生に が、郊外にも 都會病の男性 てゐる關係ですか

觀菊御會參列の光榮に浴し 竹中滿鐵經理部次長夫人歸る

第十六驅逐隊

婦選兵から謝電過日前

「満は養誠に貼附せず、裏面に素類、

り新年の本紙

に掲載する寫異印酱を募集いたし

眞募

必済お断り

等(十圓)三等(五圓)

五時から家籍機にて食を就の家と 変を避ったが家質に水井大連市助 後、長瀬大連市社會課品、高柳本 社長等多数にて主客戦を家と 前長等多数にて主客戦を家と 前側本

台所又毛

特價均

お客様の大福音

全店を挙げての

店頃で東連番日ップ 大景品附

神體然日用 " 大連浪速町 は連東西省原店の 黑品山即時列換 商品券 全部空流数十

教に百組を察取られ

殺人强盗で 杜書春起訴

MP優勝旗

羽がカ エフェ

香

お味いちょう日

爭奪卓球戰

申込あす限り

郷の光繁に浴した情

東南北岸へ繁富の野京である。東南北岸へ野田の野京である。日午後三時大連港に来続

許不議會長被鄉宴 際げに西部大連融

たい) な繊維でんさとて帯原車が微光したが原車夫腕貧由及び駐脳になるとこれでが原車大腿貧由及び駐脳に 株手中村変奏でも微数毛容様系で 一時世分、地頭東部第三語所前に 一時世分、地頭東部第三語所前に 一時世分、地頭東部第三語所前に

の六十圓也

卡二月五

歲暮御贈 日 品 價特

も

憩を注いて

居ります 新し味の溢れた御贈答品 御撰擇に御手間をとらせぬ様特に陳列に 「贈り甲斐のある御進物品」は品質 あらゆる種類に亘つて豊富に取揃へ 出

回 價格等をとりわけ吟味致して取揃へで居ります

浪華洋行に

御用仰付け下さいます樣偏に御願ひ申上ます

浪速町の

■話(代表) 五一七

ドランレ 洋星 一大一五電

十二月五日より九日まで二階にて 御相談に應じます **摩語六五四匹至 入** 丁 大連市 業所

御召風、緋、模樣、縞、壁織等御婦人物と男物伊勢崎、秩父、足利、桐生、越後の五大産地製 とを潤澤に取揃特別奉仕値段にて提供致します ……三国より七圓まで

一 反……

大山通



ば

展覧大連四二六人

A

(松の翠)

肝:



以上の事務さ經費の質しむられるされば発任せらる」ときは「地當業者の

一日浦口を出發愈よ

張學良氏歸奉の途に

國民政府の新任部長決定す

制八時より政治會議が開かれ蔣介石氏、張學良氏

という。 「東京三日養宝通」政府は三日 「東京三日養宝通」政府は三日 「東京三日養宝通」政府は三日

兩三日中に出發して

委員會

民政負擔輕減

響艦隊の電鞭を愛してかり、銀作組氏は出地へのため、二三日中に天津に虧くやも知れないさいない態定しない有機であつて、留守を守る幹部には一様の不安を抱き駿日前より銀作棚氏から再三至急の下では恐らくみり得べからざるこさゝ見られ、又これた塞書するやうな懦糠は常地の仲島にも懐悪學良氏が南京に監槃される檸檬であるさの東電は當地客方前に多大の脳動を爽へたが、現在の駅

宅に隱れた、近く日本に赴く豫定であるに大同より來津しイ ギリス 租界 崔廷献氏の『天津特電三日發』閻錫山氏は三日未明密か 閻錫山氏密かに 日本》大連? 大同より天津着 閻錫山氏三日離津

崔廷献氏宅に入る

連か不明だが悪舵せるこさけ確定
と「大神教治殿に乗った代先は日本か大神教治殿に乗った代先は日本か大神教治殿に乗った代先は日本か大の男氏別歌「麓っくはず 閣錫山氏の 落行く先 阪神地方某氏邸 を非難し を非した。 を非した。 をはれる。 をは、 をは、 をはれる。 をは、 をは、 をは、 をはな。 をはな。 をはな。 をはな。 をはな。 をはな。 をはな。 をはな。 英上院可決

反英運動の提議

漢口國貨運動委員會

動た器部に秘密さしてゐるが近く 「日来明珍妙」を慰したたての後代 が厳より天津に潜入したての後代

南京を訪問した

民、称農園意大部」正式提出「會報」

、水谷外七氏は三川午後四時、水谷外七氏は三川午後四時、紫霞原薫を訪び大會で決議を整備を記した。

『東京三日教電通』 漢糖薬正鑑調金響电に依り内粉徴にて表記院 を燃か決定の聴転にあり、國勢調査の結果による人目移動に基づ を燃か決定の聴転にあり、國勢調査の結果による人目移動に基づ を燃か決定の聴転にあり、國勢調査の結果による人目移動に基づ あた中等の今期時會提出を見合せ概本能に、また立思版。 充分版 をかったうへ明年度議會に提出すべしさの自電識が移力さなつて をかったうへ明年度議會に提出すべしさの自電論が移力さなつて

張學良氏の收穫

大いに男ぶりをあぐ

▼…入京後・温学良氏は連目連一つてこのアログラムは態度され版。総とて密後戦が成氏は近月十九日震京二 大中央機能全観を設めて、のみなら 州、遊んた。磯氏は熊氏さい食見、数を入真せらりる際城さなつた。 はの形象を吹嘘・形然節でして東北を中央の要人特能等で窓階に総會、反夫人學総氏で・心敷人だけが抗。山西草の電蛇酸、徐永昌の極代。程は北京の一下に、後、北京の一大中央機能を設めた。のかなら 州、遊んだ。磯氏は熊氏さい食見、数を入真せらりる際城さなつた。 はの形象を吹嘘・形然節での開催を中央の要人特能等で窓階に総會、反夫人學総氏で・心敷人だけが抗。山西草の電蛇酸、徐永昌の極代。程は北京の一下に、は北京の大田温ならしむる目前を見て東北夜中央の要人特能等で窓階に総會、たた人學総氏で、は、大田園、一大中央機能を設する目前を見て東北夜中央の要人特能等で、京は、北京の一下に、大中央機能を開き場では、北京の一下に、「大田園」というだが山西、代表が高くいので、徐永昌の極代。 「「大田園」というでは、「大田園」というに、「大田園」というに、「大田園」というでは、「大田園」というに、「大田園」というに、「大田園」というで、「大田園」というに、「大田園」といういうに、「大田園」というに、「大田園」というに、「大田園」というに、「大田園」というに、「大田園」というに、「大田園」というに、「大田園」というに、「大田園」というに、「大田園」というに、「大田園」というに、「大田園」というに、「大田園」というに、「大田園」というに、「大田園」というに、「大田園」というに、「大田園」」というに、「大田園」」というに、「大田園」というに、「大田園」というに、「大田園」」というに、「大田園」」というに、「大田園」」といういり、「大田園」」というに、「大田園」」というに、「大田園」」という

廿歳に繰りあげ

默つては 3)

対象と共に対象があることは

支那側の鐵道 問題について

おの個数をなす部門をした 大合同大工業の
で成は少数の事業出鉄が分離する
に東京三日後電道」 産業合理経路
・さの意味を都最して変現會に答って成は少数の事業出鉄が分離する
・で成は少数の事業出鉄が分離する
・で成は少数の事業出鉄が分離する
・でではは少数の事業出鉄が分離する
・でではは少数の事業出鉄が分離する
・でではは少数の事業出鉄が分離する
・でではは少数の事業出鉄が分離する
・でではは少数の事業出鉄が分離する
・でではは少数の事業出鉄が分離する
・でではは少数の事業出鉄が分離する
・ででは、件し、れば事機数であっ
・に

外資によら 東北鐵道網

| 上海特電三日襲|| 最近北郷蝦路 さた臨 | 最長高紀線氏は南泉政府の殲潰部 東北突 | 最後高紀線氏は南泉政府の殲潰部 東北突 | 最近、大海である。 | 本である。 | 本でる。 |

特別會計に計上したる

關東廳の新規事業

承認額百五十

は早急には出來のものさ見られて

委譲については特に考慮するや に発 案提出見合か

| 東株の年末年始 | 「東京特式長期 | 「東京特別 | 「東京教別 | 「東京教別

無產黨合同案可出

第五十九議會對策をも決

三日の全國士

今期議會提出

選擧法改正案の

結糸ボン槍 常市須迷蘭状にて見浜り麻婆も

標金高を眺めて (東) 一葉 (道) 本 (東) 本 (東)

伍堂滿鐵理事語る

のですぐ枕だのS新能の称形かって 眼が飾めるさ、事性が縁にかっる まの智朝さ云つても私の起きた

た事で概率となっては近の帰話を明新之助が利率のをでは、かりまり、だが明新之助については近の帰断が利率の一座に逃亡とのがそもくの帰居となっては近の帰居というという。

して強くのすぐれた低品をコアラ上述の軽く彼の機能は壁棒して

暗殺事件 銑 三 郎

さ、ゆつくり花井氏は誤り始めかも派手な美人だった……」

大まかに言へば所離流行さいふものより。不易道をいつたものさい な事が出來る。唯、今日の歐蠍に を活意識を以て云々すれば多少の

すがら松風なきって我眠りるし さびしさに馴れつるものがひも さがしなに馴れつるものがひも

世界には変を見せなかった。時間は、ここので、であった。他のでは、は花井氏の音楽に從ひ、すぐ例ののて居るのも恋場になっている。であれて、なり、からない。丁座様ではなかった。時間は、これでが、いくら待っても、かられたのが二時近くであった。他ので、では、一般が無いので、では、一般ので、であった。他ので、では、一般ので、であった。他ので、では、一般ので、であった。他ので、では、一般ので、であった。他ので、では、一般のでは、一般ので、であった。他のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のであった。他のでは、一般のでは、一 トップにのつて居る記事には ・カップにのつて居る記事には ・カップにのつて居る記事には ・カップにのつて居る記事には ・カップにのつて居る記事には ・カップにのつて居る記事には

税が部屋に飛び込んで見るさ、税が部屋に飛び込んで見るさ、 作ら、例の通り窓ぎわの安架椅子 が現在の彼女を製り上げてる。脈間による不滿の陰のヒステー

さ切った花井氏は一可時間を見

はあられなかった。處が花井氏はニャイをいう云はでに 程はやいなし作らこう て来るだらうさ思って歌の支度は で来るだらうさ思って歌の支度は で来るだらうさ思って歌の支度は 要性に近づいた。此の場合にかける機な老購間の態度は一寸電融で 人のそのやうな生活を陰性らすきかって来人は悪のでうな生活を陰性らすきかって、彼り身の衰へかって株力に新しい火をつけてあったが方。。これを持ち、ないとのがある。彼は夫なかって来人は非常に不満な幾分の

せんか。全朝の朝後は誰んで来たれてあるさ思ばざるを得なかつたれての新報に断たじやありませんか。 全朝の朝後即鹿にされたからないのでは

て、千草品子や高津原子が、この樂雕から彗星のやうに映画外、ことは、見る

では、紫雕部が、レヴュー、映画 とう一歩進めて寒へれば、この事 とがし知れぬのだ。それに

れ粉を有いなメターな際山養成とす何れの方面へ向けても、それぞ

が竹ばかしが跨ることの出來る武を整めの乗場さして、威はこれは、

脚を押む乙女は言へり一日ごご胸に吹きたる情が散 待ちわびし岩は來なくに夕まけてつたの器類にそ、ぐ秋雨 憲 賀 寸 とくはざる心ご、ろに已なばひた守りたる人をかならむ 20

八七五八話電・詩権、監常連大

場馬

げる紙流を利用して飛べるぞさ彼か、さうすればうまく山に吹き上

が行ってゐるだらう、それが一日

東た計りの天國のやうな場面を思って今見て 彼は自分の前に思げられた多く 彼は自分の前に思げられた多く

人を際にも

飛行士公園

ヴ・イティン作

の仕事に不平を持つてるた。それはそんなこさをする必要はないさ はそんなこさをする必要はないさ はそんなこさをする必要はないさ 上つまり王座の行艦の岩に登つて 上つまり王座の行艦の岩に登つて

ゆつくりで考べて見た

一致しく技で救助を待つさし

味を持つてるためかの水澤が勝つうな山からチャンツェフが日頃幾

0) 棉

道に夕の雨の落つる音現り塞くきいて通る

も胸たかぶりてこの夜れい身をあなづられたりく

で街の本地に

リ、孤獨の部 - さが感どら 郷子にはやは『共福するも が、後者の訓練技に底か

带九五八四箭军

がある人となった。 「大正十四年) 「大正十四年)

江庄锡馬

後であるからでわり、一首。 、彼の短歌の光つてゐるの。 での知歌の光つてゐるの いるとはじめてより十回員であるとはじめてより十回員であるいりぬて心はさびと夕暮る、こときの夕日の色の贈り映えとさきの夕日の色の贈り映えとさきの夕日の色の贈り映えとすらんでは「煙は冬ごもりをしているという。 を 年「アララギ」第十五 眼にたちて來し、大正 足を量吹きにけりつら假の限りの心地よ

点質河三線広衛市護大 巻の一日五記者

0

須賀商會滿洲總代理

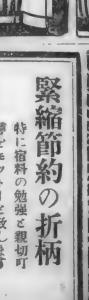
は進和高雪

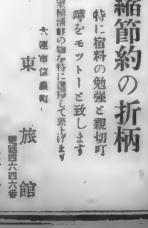


日下協科監院













く夫人が「一でなど、 をれな全部の必要はない。 大さ様。に行くやうになっ 人さ様。に行くやうになっ 人さ様。に行くやうになっ 大さ様。のである必要はない。

に花が低に解って見ると家外な事 處が宿に解って見ると家外な事 という。明日正午にアペート逐来 という。明日正午にアペート逐来

をない事はよくわかつてゐるの だが、自分では強くさも名機能シ だが、自分では強くさも名機能シ でない事はよくわかつてゐるの

のだが、野山共のもの、観王には、 大人等魔ご酔媛の石だつたのだ。 もう一人の歴響秘書は表準の銀額 ・一人の歴響秘書は表準の銀額 がわかるも、同時に事似態を犯人 ちしいものい見ださ云ふ使の出場

白水吉次郎の

は水君は「アララギ」入會前のは水君は「アララギ」に整代は「アララギ」に整代は「アラガン」に整代は「アラガン」に変行する「元格」等に著代ないと変行せる「元格」等に著代する。 短歌 岛壽藏 言ふのである。 路の事質を知つてゐ

まで其の夜は絶につくここが出來ない事にがして手が出來れた何がといったのであらう。それにして、一世にからない事にが思趣にうれた。 こして異れた何井氏が思趣にうれた。

一題は、松本老師問大人、保険背

之助の話しさ

さした。

氏は、非常にまじめな顔で云っさ云ひかけるのをさへぎった花

一回ヨリ別進 品券 1 一個 意 折 詰 一個 本 折 詰 後煙車 関係の経済が カラスミ. 新栄養館

字 川 門 利

今

大阪と

源院

ネ眞 熊 岳 娛 築洲の唯 便 乘合自 設備あ 水 プリキ ホ泉温

0

場

0 一度使へばきつと御氣に召す

永井婦人 医二大六六十五

婦人の病は婦人の手で

當

屋旅館

婚

禮用御履物は

七 店

狼 MJ =

世界を位の場所だ、ここで彼は最近の場所だ、ここで彼は最近の場所だ、ここで彼は最近の場所だ、ここで彼は最近では水が、かっつた間に水色のい一匹も見出したが、かった間に水色のい一匹も見出したが、まれらかった。山、水、それらかかった。山、水、それらかかった。山、水、それらかから水を終さ、キラノくするまばゆ

流氷で舢舨頻覆

カンユーケリーム 瀬 東 子 神経 は 一 本 かど ん ざ

・甘薫の天國

〈拔ኍ地頭一然砕

順全族店服吳やすびる

器三〇一部

値

新機軸

調製

學生の舞踊を

表示する用語決定

今後も引續いて調査を進める

満鐵教研會の努力

學兒童

ない。 は、 に面白からの結果を排來すること ない。 に面白からの結果を排來すること に面白からの結果を排來すること に面白からの結果を排來すること

いまえは亡夫の香典返しに金廿國 たまえは亡夫の香典返しに金廿國 を質困者敷濟資金さして三日泰天

のニユース

貧困の同胞に

するだけ各種の登取方法を設定する をでしては北島のようのに手動料を設す。 してはならかものに手動料を設す。 無手動であるがために問題が養生 しても問題はないのである本面にはアルチア階級の負 に書かかから問題さならかさのは に書かのから問題さならかさのは しても問題はないのである本面にはアルチア階級の負 に書かのから問題さならからであるから社會政策上 は、おいがへこれを社會に要表 を理解して必要、である本面にはアルチア階級の負 である本面にはアルチア階級の負 である本面にはアルチア階級の負 である本面にはアルチア階級の負 である本面にはアルチア階級の負 である本面にはアルチア階級の負 である本面にはアルチア階級の負 である本面にはアルチア階級の負 である本面にはでいる。これに反響と である本面にはないのであるから社會政策上 は、ならのがあれば終らい、陰金や となるのがあれば終らい。陰金や となるのがあれば終らい。となる。

進物用祝菓子、

赤飯祝餅

食

7

運動具で

服

桃太郎特製のカステー

ラ饅頭

新市

電出

話

慧

書書

Ø

文英堂

濱

行い職合大賣出をなす等であ がら二十七日まで慰品機能四 がら二十七日まで慰品機能四 がは一十七日まで慰品機能四

戦の学出にはいくらー方法はあるという。というというのは含まに及ぼす駆け電機機能を

こさは危険だる監督官職さして

話

二茶子 六部舗

うのに

定

料大賣出し

るだけを確しない。本元を関すては、 あるへにては、 あるへにては、 をですさい。本元をは、 なな、 をでしては、 をでした。 をでしては、 をでした。 をでし

の侵自味

お正月餅を施與

中に喜ばぬ者もある

激寒を衝い

7

電話六七二番の桃太郎へ御用命の程を

皆様は御存じです

旅順唯一の食道樂つばみを機は御存じですか

菓子色々取揃へて居ります多少に不拘

公

主

入營兵安着

海陸鮮

重物 間 屋 御用達

井町

電ぼ

=

Λ

振春口座大連三人五四番 版順朝日町市場內 店 三 二 番店

產海

驛頭は盛んな出迎へ

本年は例年にない暖かさな愛えて一本高 事實確證のため

下值

柠檬を

御待ちしてゐます

関静な御部屋が

町葉青市順旅

ルテホ順旅 番七六三國話電

SAKURAMAN-

大学の一味 智製 造資物類製造資物類製造資物類製造資物類製造資物類製造資物類製造

雙河鎭奥の邦人惨殺事件

年末賣出

 \Diamond

市內榮可一丁目籍貨商榮與茂方店 二人組の强盗

匹

平

街

小學校のリンク

三日朝から開場

森 森 森 東 大 大

島

を 話 一 三 八 等 旅順市乃木町三丁目四番地

和洋食料品、生野菜類群、罐詰、瓶詰、米麥、麵群、罐品、瓶詰、米麥、麵

嚴寒に銀盤上の賑ひ

モストワヤの

一九三〇年代の職の職を報告であるので、大は今から場合して統領十八日抽籤を行ふさ

蔵末大賣出し

完成を解へてゐる

原

消防隊の 一日間で百餘頭 野犬狩

聯入組合成

婦人會總會

総部に於て続する間能した 第中の虚四日年後一時より高級員

家庭慰安映畵

ない。 ないでは、 ない 無憂華を上映

職業者諸殿に柳通知事し上げま に依り職前大塚社及鴻連通弘文 に依り職前大塚社及鴻連通弘文 に依り職前大塚社及鴻連通弘文 滿洲日報販賣部 奉天地方の

日支の共同調査

金州のスケート 今冬は盛ならん 官舍横ご學校にリンク

世界に於る

ラデオの大勢

一大連の強いであります。では、一下であります。ということで、100mmを持ちのは、100mmを持ち

東洋醫院內祝

洗のラデオな、町駅に続き取るこりまして、大連に続ても、ドイツ

田舎から入込む夥しい野犬

る 高級勢称縣志能第十六回家庭融会 の活動。動事代館中門捕鯨松三書 手様十能さ現代館庫天標作職場の を整た三日午後六時小學校の職堂 に上映したさころ像の如く豪帝ら

50ので乗りを戦い遊走した 50ので乗りを戦い遊走した 50ので乗りを戦い遊走した **辻 强 盗** 外の服洋紗羅 たこまり始を貨雑諸 を寄立御度一貨雑諸 製比倒や段値で物品 1.2.k

店商野吉

n 群和御一報交第項語持**多**海夏**多上** 第 連 浪 回英國製作 華洋 購 無電旅 輸 数 数 数 数 数 形 方 山 買會開 始

揃ひ超特費品

実服券非共通商品券

機順乃木町

を順乃木町

を順乃木町

を順乃木町 割引大賣出

工作

和洋服類の大安賣新古毛附トンピ、オーベ、婦人コールを取りなった。オーベ、婦人コールを受賣

建一四店

特許野間式ストープ製造元野間鐵工所

おかれず三丁目交番機

旅順乃木町 カフェ

E W

174

魔話四七八番 上十一度福用金額試用順公 青葉町の

外山洋行特製(化粧用)大機・許利のよい 生 打凾人 金七

川

链

器/ 是行

果、 處置に続した、 競は を選がりのでできる本籍山東省住所な を選がら取引の關係上四章 を選がら取引の關係上四章

機の檢查

不不死老

Eとなった時、ことで馬を飲みたである。

女給

女給

山城町大連自

馬地さいふ村の郷三さいふ遊び宿

外交

四五歳い方

安

太郎、第二中隊長野村數幸、第三中隊 大塚進 ▲別動砲兵隊長伊藤益太、参謀長 水野藤一郎、隊附將校中村蒙吉 管田第一、生田繆嚴 村編欠、秋貞叫吉、川岭端維 村編欠、秋貞叫吉、川岭端維 村編次、秋貞叫吉、川岭端維 村編次、秋貞叫吉、川岭端維 村編次、秋貞叫吉、川岭端維 村編次、秋貞叫吉、川岭端維 村編次、秋貞叫吉、川岭端維 大上長破、市田藤兵衛、洒瀬川 宮田郎、三浦添七、大惠新治郎 では、第一、大田・東城湾一、田中来松

を設した。 全個一個五世指で像勝者には登記 を社成クラブ日本間において開催 を社成クラブ日本間において開催 を記して、 をこして、 をこして 青年雄辯大會

の役員の選出を前にして私郷を観りれるにが同人等部時間は此の粉に正り死走中の歳底々其無條解として情景として推ってく内定して一部に正り死走を引力を得力を答が、金田高になるのとして一番によって自長として推ってく内定して一部になる場合という。

一段落か

不況で萎縮

般の貯蓄觀念

を正している。 本語上算四二名▲自取算六四名 本語算六、名▲時第二六名▲傳 東三九名▲暗算一九名▲百種親

明報院は東であるが影響を表記して推ってく内定して 一様瞬間に一低せる事とては整かを登録するをであるが影響を表記しまっては、 を受験するや話やは本窓であるが影響を表記しまっては、 を受験するや話やは本窓であるが。 のか好くである。高橋氏派をせる を受験するや話やは本窓であるが。 を受験するをで話やは本窓であるが。 のが場所に流行したが、 を受験すべきにあらずさ見らい荒心氏を を受験すべきにあらずさ見らい荒心氏を を変しまっては、 を変しまな、 を変しな、 を変しな を変しな。 を変しな、 を変しな、 を変しな、 を変しな、 を変しな、 を変しな、 を変しな、 を変しな、 を変しな。

開城記念

このお金は動館してためたお金 に歌歌を出っていた。 一般にできたいたのを買はなか にいたお金を作の中の人のために 離脱が機(きした)に「一般ないだっと思ってためてあまし になった。 「一般ではないなったりと、 「一世の神の中の人のために 離脱が機(きした)に「一般ないだっと思ってためてあまし になった。 「一世の妻が神人りお 「一十六元を軽していた」」 「一十十十年後、1時にある。 「一大の大き、10日の本質はなか 「一大の大き、10日の本質はなか 「一大の大き、10日の本質はなか 「一大の大き、10日の本質はなか 「一大の大き、10日の大き

青年團の

職川質製液年回では三日午後七時一

死 狩り

新ストー日安東着

十一月十六日の午後、秋に岩田 から、郷り新様野いヒガニック から、郷り新様野いヒガニック かった 一番 ない ない ない ではない 、 第一、 第二さ 朝ケ所の いかる、郷り新様野いヒガニック かった はない 、 第一、 第二さ 朝ケ所の

れば、前途の娘と高彩線の和は気 て自給をかせどのだ、君の靴によ この迷の神氏で、農院跡を利用し

でも すれ屋が働いて居る、郷て

満鐵沿線に働らく人々

十一月の長春曜後端を送。貨物金根は昨年度に比し 三次・三次・11 成 紅東 文 中閣 こた・三次・三次・11 成 紅 はで前標部を撃つて殺害したもの に来た果と日論なはどめ情然さし で撃外に安らうさする果か孫が挙 長春驛發送 南行貨物

新 一般一米が楽山で忠告を興へた通 しかたならに歌安に贈り尤魁さ は、 その月の様には戦世都がら寒 数大魁さの衆族な戦へようさする こっ 古 南曜かまき上げられた歌姫 に他郷へ引つ越らたさいふ。 こしも楽しまで、母の念見に從ひ 人でゐた謎も突に躍り尤魁さ はまたとは、 ないという ここしも楽しまで、母の念見に從ひ しゃれならに歌安に贈り尤魁さ はまたという。 ここしも楽しまで、母の念見に從ひ しゃれならに歌安に贈り尤魁さ はまたと

さむ温公子

それらしいものも見付からない。 とかたなしに都安に師りた態さの家族を剛べようこする

三人のうち何んさいつても温公子 大家の特旺肌の働きがある。 それに歳も若く、薬も滞滅であり

金飾見は高公子にぞつこ

緒に度いさいふ心緒で一杯であつ

日程の後に死に、妻もそれから問 もなく血な吐いて死ね。

公子のがは感気遊びには慣れりつて磨り、大趣 婦人などは戦中にないのであるが、呼分価環の十日にないを納見のここであるから、これも難くはない気持ちの今日此ば、1000年間に入つた可愛ら

財産さ言ってはも

り掘ったので、以前の鑑飯屋があるだかり、城内の鑑飯屋

州內男子中等校 第四回辯論大會 六校の各代表辯士が 三ケ國語で推辯を振ふ

大會は七十年前十時より旅順第二
中學院職等に於て解して名
「大會は七十年前十時より旅順第二
中學院職等に於て解しの語と、
「大會は七十年前十時より旅順第二
中學院職等に於て解して名
「大會は七十年前十時より旅順第二
大會は七十年前十時より旅順第二
一大會は七十年前十時より旅順第二
一大會は七十年前十時より旅順第二
一大會は七十年前十時より旅順第二
一大會は大自由
大字にた記の通り大校より選出の各
大定
「大會は七十年前十時より旅順第二
一大會は大自由
大字に大記の通り大校より選出の各
大定
「大會は大自力を表現した。
「大會は大自力を表現した。
「大會は大自力を表現した。
「大會は大自力を表現した。
「大會は大自力を表現した。
「大會は大自力を表現した。
「大學の最高の語を表現した。
「大學の最高の語、「大學院」
「大學院」
「大

驅逐除歡迎會

からさ云小理なるとて

歐の途に就る 金臺

探探を述べる處があった

よいるをいふ変か吹き込むのであるといふ変が吹き込むのであるといふ変がで、田地か覧り振いな質が、北へ持つていつて巨利をなっているといい変が吹き込むのであ

友は類を呼んで をは類を呼んで

「妹が可窓想ちやないの、あたしなかるわ。せめてご飯くも得ら上つ

高等

東宮は七日午前十時より旅順第二 工業對千歳 東宮は七日午前十時より旅順第二 工業對千歳 延第二日第〇午 職支社、満日展職支紅等登起 ・市役所、率融公職食、大 ・市役所、率融公職食、大 ・市役所、率融公職食、大 九就は本線貨物列車連絡運

二)総切は来の

をれば数公子ならてなず、二人が一つに成る――成態――といふ

は此の村のものであるから家に歸って、温公子は金鯱兒さ、鴻麻子

李精 斯蘇總督府官盟 特田顧天堂、電話三二〇九番

薬は ヒシカワ薬局

はますが母園の一足でも

が二東三女に置ったが、それでも 如玉もその無いなり、田地だけ

の 起さな氏部さで脳の書かして彫りで見てきへいゝのだから記しつて見てらればいゝだらうれ」 つて見たらればいゝだらうれ」 つで見たらればいゝだらうれ」 へ 九千二百餘兩は手にノーで、船をやさひ、北野さらう一、人の吳服道い較大慰さいふ鬼さを 人の吳服道い較大慰さいふ鬼さを はいて蘇州へき出蒙した。 ・北に育つた処形には揚子江の世 中に消んだ金山寺の機職、暦 これものんだくれっ秀才、離雇子

・ かくて禁髪焼肉に下郷二人を働いっといふー様の名響心をもつて、 こうさいふー様の名響心をもって、 こうさいふー様の名響心をもつて が うれば二千屑にはなる。そして駆きの記念すべき家を千四百屑で手懸ってはない、あんたの家屋敷を かまい家を借りて住むがいよし かまい家を借りて住むがいよしの記念すべき家を千四百屑で手懸ち したので

はまる。その前して、たいでであるから。たいではまる。その前して、 たいはなであった。そこへ二人の脈がはなであった。 本族的一九七書吉田電話書 大連常陸町長已館 小傳迄
大連常陸町長已館 小傳迄
大連常陸町長已館 小傳迄
大連常陸町長已館 小傳迄 女中 十七、八、九歲入用

外路、以野女十名宝典で 見智不能等等 **貸衣** 姜 天朝高級純生機が後級は

金「オポポーニ」
金「オポポーニ」
※和の前の拠し線が続かして
「おれだつてまだ駅数の池に少し
はずさやかましくいふなよ」
延察は下かむいて耐る。
・ 必要は下かむいて耐る。 満日案内 カウ 格安護度 イワキ町 新古寮 電七四三五 ・ 大谷 商店 ・ 大谷 商店 フヨ ウ品画 衛音変 電七四三五

34

山商會

實印の御用命は

譲店 カフエー目下感楽中 スチェンス カ 古金 銀白金漬金學、ダイ 4 連市大山道・小林又七支

拓炭洋行 電話五四三九番 一 大連市警視の 大連市警視の 三河町 大連市警視の 三河町 大連市警視の 一 三河町 大連接り 智字 大連吉封 電八六七五番

福村 金華夜具共月中七個の割 一個下 斯・機関数和完全月極一人一室神五個より 一九三個田館電三三六〇 海河。写丸。副留。房底。〇〇子 が人病内護。順所会。明成会。其他 大連市復速的五丁目二百一 大連市復速的五丁目二百一 等、リーク大連大学へ 等、リーク大連大学へ 等、リーク大連大学へ 等、リーク大連大学へ を表する。

「本紙」では、大・チック・サード間修繕 か一般直に多上致します。 蓄音器 第5 大山美(日本冷祭) 占野 議 安部服の準備有日本橋際 有日本橋際 大塚生産 大値下げ 所属品附 内球式四十五個

名刺 零語八五九八番 電話八五九八番

印書 邦文タイプライター印書 地震電話八四九六

、印刷と寓真

九 電話八二〇三番 通勤家政婦 (標準一切) 一日一個 (標準一切) 一日一個 美震町五七電話二一八六六

總見 歯

大彩のが、使ぶるのなら、玉青城 の大であるから、細恋を探げずで おなんかでもいいだらうが、繰り でして小郊の方でなくて、

建家 向陽桑二九初音町停留

げられるぞ、要心できらわれ、この

します 荷物は迅速叮嚀なる貨 を地行一般荷物、引起 をと非御利用 がは迅速叮嚀なる貨 古市運送店

英語 高等受験會話女案作成 縣郡瀬九六北側祭 英 學 會 家賃四五個 小口 常狭町一九七 金融 一田 電五〇一三四日 電五〇一三四日 電五〇一三四日 電五〇一三四日 電五〇一三

クサ 及胎器の特効薬有まず 大連製場隣根本薬局電七八六二 大連製場隣根本薬局電七八六二 鈴木丈太郎 電話四六九二番

ルボース のではあるが、大家の智様さいなのではあるが、大家の智様さいなった。 はってはあるが、大家の智様さいなのではかなが、大家の智様さいなのではなった。 さ

電話六六八八番へ

洋服類奮裝

荷造=運搬=本 運送業赤松 運送 叮嚀に顧り

引越荷物

理學的物理療法院

天津 ボーズ

本学、 バタークリーム 大連中気味式食社 電話四五三七番

牛乳

大びまや電六六〇一番

グラム

+

の高

貴遊

を終ってかけまて

其法問は永

りには此の有効なる高貴源(共都治院別、特製治院別(共 一千五百圓 し、出版中の處、今回檢定

地で調整は整体です。私は中します。 一部に通響出来るやうになったことを を表は心から有田先生に感謝せずに をの事能は整体です。私は申します。 一部より誘揮、有田治脓腫を駆ん で御ばなさい。」と。 で御ばなさい。」と。 でのまたをなったとを を表しません。千万記よりも一 でのまたを でのまたを でのまたを でのまたを でのまたを でのまたを でのまたを でのまた。 でのまたとを でのまたとを でのまた。 でのまたとを でのまた。 でのまたとを でのまた。 でのまたとを でのまた。 での。 でのまたた。 でのまた。 でのまたた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 での。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 でのまた。 での。 でのまた。 での。 での。 でのまたた。 での。 でのまた。 でのまた。 でのまたた。 でのまたた。 での。 でのまたた。 でのまたた。 でのまた。 でのなたた。 でのなたたた。 でのなたた。 でのなたた。 でのなた。 でのなた。 でのなた。 でのな。

尚 秦著島田忠信

る新

告が出てるた

全地震の難病が

と 私達に取って又なき類と

肺病を征

十月頃から軽い咳が出て、時々間 の紅くほてることがありましたが 構別気にもかけずにあましたけれ 構別気にもかけずにあましたけれ

過波 樣 東

赤十字病院 間 親標者 渡邊淺太郎 一幅 大香地 邊 東 一種 大香地 夏 東

の世 男から

崎宮 電響

齋藤光之進

と、ちゅう 大田赤十字病院の一家でペッド 大田赤十字病院の一家でペッド 大田赤十字病院の一家でペッド 大田赤十字病院の一家でペッド そのた後から又しても熱い謎が込み 上げて来るので御座います。 あら と、もきらめ悟 に、やつばりなるやらにしかなら ののが私の運命だと、もきらめ悟 に、そのでもから又しても熱い謎が込み 上げて来るので御座います。 あら

様エス木鈴

様ゲス田富

型 虫と思って虫下しをかけてみたけ は病氣をした事もない丈夫な艦でしたが、今年の初め頃から腰が避でしたが、今年の初め頃から腰が避で 安東県市場通 中 市 海 東県市場通 東 市 海 野 原 新 市 海 野 島 町 田 野 県 市 海 町 営版原の

山邱浦州州山田川山水京 高東栄宮弁 町 号栄本砂栄町町天 町町港三町町町町町

左記所在地の東 專 貝賣取所

激度素 有田血液素 サー日分四円服む大皿になる

金書り続けを防ぎ

御 もこの 幸ら

間のあまり御館心から同時も有田音なな様の気が、この歌音

香むしたる良郷にして、その効能大なり。然の高貨駅を配郷し全快を一日も早める緑然に川駅頭に熔駅の治脈がは今回新に最有め、目に見にて郷快に配はしむ。 めて安眠せ

特製治肺劑が開始ない

空間 りん病薬 八日分 八円 はい蒋素 七日分 八円 はい蒋素 七日分 八円

内外省衛見乗を記す。若し前級の歌

から 東が置きは被決験に依て意思し 我が置きは被決験に依て意思し 大・・・アの悪質所を有し、今日に 本系の域する 我が面骨各地型 表がの歌はれ の田来ない恐るべ 以て、御途融なく評問せられ、 の上一日も早く全快の協いを得 もれんことを。

はりいん電話

科大學病院

日本海大海戦の當日であつた。 日本海大海戦の當日であった。 日本海大海戦の當日であった。 日本海大海戦の當日であった。 日本海大海戦の當日であった。 日本海大海戦の當日であった。 日本海大海戦の當日であった。 も輝く薬は紫山よりも重し、一死一か、いざ家館の場合は何によつて国連國際を維持せ、一際に 之を 聞いて離然一語な 現代に電際以外我國の實力なるものは何所にある各員 周輩過努力せよ 至つたのは阿往江麓役に於りる軍隊の場である。 加速さの間では、一我が回転を砂造し、回転を伸張して今日を指来した 日本海々戦廿五年記念の執筆 たのは門往五載役に於ける軍隊の場である。

りと十八扇鳴に歌楽し、東気百宗。 さは子の傷り湯の 我國 総有の日本。郷を世界に静一打たれて居るのであ 女し、茲に複念し、子と司祭りと

死となったのである。

以て此の國際に打勝たねばならぬ。 して居るのである。此の秋に當つて現 郷際下が日本海々戦に際して克く自省 の名文に増れる精神を低して克く自省

方一尺の大形色紙型にして練面面に排軸に適丁。 方一尺の大形色紙型にして練面面に排軸に適丁。

想の起す、比索受難の日-その死 が の味から避さ上つて活躍を強の私

第三篇教育美談書看田音松中廢意造書

支那の神鸞と日本の親鸞 輿論政治は衆愚政治

大便の検査法大便の検査法、原際に対して、原際に対して、原際に対して、原際に対して、の方のでは、原際に対して、の方のでは、原際に対して、の方のでは、原際できれば好い、服成の大便は、無限性の責任を知ることが出來る。之がはるを知ることが出來る。之がは、無限性の方のでは、無限性の方のでは、無限性の方面を知る。とかは、無限性の方面を知ることが出來る。之がは、無限性の方面を知ることが出來る。

東京日本権通三 元 有田ドラッグ
平殿所 東京日本権通三 元 有田ドラッグ
平殿所

桑快者

鈴木スス

は

郷価となり、配質増加となる。故に配関も繁殖セナ、る。故に配関も繁殖セナ、 でいてい、郷別や観、電がよい

通ずで思い付いたのが、大便 ・ この信はの間に続き たので、この信はの間に新す たので、この信はの間に新す たので、この信はの間に新す たので、この信はの間に新す

は、、山山山殿用に依り十五貫百分となり、六百分別加の奇効を変し、青年宮時のやらな棒状の裏色便や固さる泥った事。 第二 薬師や温泉療法で十年間 第二 薬師や温泉療法で十年間 第二 薬師や温泉療法で十年間 1000 日にか清証を根拠さして依

で助病やロクマクボ有田豪で常山 に持々しくなく、金々苦悩と無望 に持々しくなく、金々苦悩と無望 に持々しくなく、金々苦悩と無望

右返った韓

を報や日光に別が を記された田園生活が からずした。 が、日を記る の外、日を記る の外、日を記る

しは紛 りあ者正不る賣を

取の際左の文字なき物はこと物な 本舗 有 發寶元 末京日本橋通三 田音松鑑製 田 ドラッグ 大阪內本町一

製鑑松香田有

藥効有任責 ぜんそく 病病病 請合藥 請合藥

請合築

森 黄 金 町 郵便本局前

穀州 棚 本 町 南浦碑石里

•

本

本

の文字あるものを御買

臺灣霧社事件

で調査治器

學院士な搭稿して見董何世講演して、精鏡では新界の構絵者間田

「東京三日發電酒」明大脈動「遊 を機田學長に手変したのう演説會 整加により益々機大・三日午後二 は微楽説めなかつた戦行委員に會 時間育育都再発像にて學生大會を 見が申込み午後四時より剛者の會 脱・斑惑か委員で窓。學戲帳新館 見信はれたが、この間就二千の幸 がたのスローケンに鉄・感念の音 をは絞内にて示感運動を宿び不職 変加により益々機大・三日午後二 は微楽説めなかつた戦行委員に會 を検でのスローケンに鉄・感念のる の参繁を売して の参繁を売した。

實行委員十名

學校側と會見

献氏さもお罪の決定を受けるもの明日中に決定書の恣意を見る等で申であったが、四日康歌終結と今

京四川後電池の地震原産会社で入月以来四月に直へて地跡された乾新兵衛氏及びて地跡された乾新兵衛氏及びで八月以来四月に直へて海連、大海の地域には大事性が地域には大事性が地域には大事性が大海氏及びて海道の大海には大きない。

会会で影金二一国に農せられ、 原本家四日登電監り除式 が東京高級短所名地被事より除式 で記念で影金二一国に農せられ、

内地 行小包成績 大連郵便の取扱の十一月中における四年 月に比ら一千百五十二個微少で前月に比ら一千百五十二個微少であったが浦開後電。結果六百四十つのたが浦開後電。結果六百四十四個課刊された

偽せ醫師

罰金二百

トロフ丸

既氏さも心脈の決 で見られてゐる

日本橋校記念祭 日本橋校記念祭・日本橋校記念祭・日本橋校記念祭 日本 会祭を包行する由

依然落つかぬ明大學園

官吏の震災義捐

入營中の

石買入れ

農林省から發表

議會で暴露

給水タ

無用の長物ご取毀し

役所で協議の上撤脱する事になつて四日から取毀しにかいった

『寫真は同タンクの破壞作業』

観されてるたが、

てあるので住民はこれを戦なる除 震さ見ず震滅の再活動さして多く は最外に逃滅し寒神に驚くつゝ」

なるだ客にいて近極地域の意味がなるだ客にいて近極地域の意味が

帝國教育會

が

國民學校の計畫

高等科生修了式

警察官練習所第二十個高等

中野

リエンタル貿易商會

軍教ご補習學校合併

関東際野祭官総署所第二十同高等 所に於て施行の警であるが、今期 所に於て施行の警であるが、今期 修了生」本年二月入所の二十名で

皮 軟 性 下 病 病 病

一切仍六電、五二町野吉連大

院醫

腰離脱では一定監院の乗艇観察。 て駆る便利なものである 地名後観繁なる融入を

商船で發賣

総護士の郷壁論のり五時限年とた
《東京三日簽電流》
郷戦帰職事代
《東京三日簽電流》
郷戦帰職事代

約二千の學生

教育大會は三日國民學校繁を可決常等教育教育と、常年訓練所職合

満銭の不炭など、他下げの改善機能に直触して管架および満

市民俱樂部組織不派の表情の不炭など、他下げの必要的機能に直随とて常樂および漸級の機能に直随とて常樂および漸級の機能に直随とて常樂および漸級の

T業に関連が指手は朝代でなる。

総氏が中

門專科內

学のの五代語彙

院醫

何丁四町建設市建大

富

國民學校案

明大騒動ます

大連一内地間の

がで等域は二、三等、通用地では 一般で等域は二、三等、通用地では 一般で等域は二、三等、通用地では 一般で等域は二、三等、通用地では 一般用し得かもので、同行者が水泉で かる場合は二人まで聚艦出來を標 が、泉で

回數乘船券

(E) スケー ・チング

満鐵本社ま なはその硬いさ云を

今回開東郷土木課出張所では大連警察署同市 却て市部美を描するものさーて無用の長物

時ださ思ふ。昨年五百米と五千米 れた時は零下三度位だった。本

は統門状料の十名さいふ極く

のとなってもオスロも一選

稿をはり

福岡局竣工

べく沙神口、風水子間か進行中、 一本種か同部構際に抱き込んだが生 を種か同部構際に抱き込んだが生

一百名にも遊及しはなのかさ大学成 行した、地線署では全工場の千五 には、地線署では全工場の千五

各國の名産相揃

歲暮贈答品

日本各地名産

珍

物

日本棉花社長

起訴猶豫となる

世族議会の決定があった

「大阪四日餐気通」三千八百萬回

「大阪西川餐気通」三千八百萬回

「大阪西川大変が、一大野田八線では、一大野商泉、南郡比容町・窓町・窓田八線では、三月市の市場で、一大野田八線では、一大野田八線では、一大野田川、大阪西郷で、一大野田川、大阪西郷で、一大野田川、大阪西郷で、一大野田、大阪西郷で、一大野田、大阪四日餐気通」三千八百萬回

車で大怪我

車に觸れ膜部を地壁即死もた 標忠使(三)に指標準行中の貨物所 標の車務膜前において構内機能表 腹部を切斷即死す 岩

澤酒渍

世界各國酒類

食料品

東京風菓子護製

最も適當

0

御品

高高

十二月 Ξ 業 御披

御宴會 給仕人~o御心付け… 味。サービス.....

大山通り(三越前)

御試食下さいます機御願申上ます

津久茂食堂

御婦人方お子達のお召し上り 物も取

番も随分頭でいためております

上記の御値段で相勉めます事は料理

食堂津久茂で開きま

揃へております どうぞ御同伴にて

電二二五二〇番

吞放題 喻放題 [pla man] 村 壹圓 六十五錢

11

忘年宴會には是非御利用願ます 愛宕町三五

店具文堂書滿

五人樣以上

話電 四四六九

新荷着御案内 ヤ其他、紅雀、 色山 夕楠

行 関連

開業一週年謝恩賣出 いろは履物店

て物質の上以圓一 1 一等五圓券より十等迄 海速町サクラ食室兼營の 編引付き 電話(近かつ四番

「電通」去る十四日イ バ東にアメリカ大陸な機能、 南米アルゼンチンに飛行計畫 愛機ご共に日本出發 常館が生に最大注意を繋げる相聘

空の女王、ブ夫人 米大陸を横斷

伊豆地方に

き意見交換の結果、暴動の退出施 公正會內にも

月 調査能な過ごして、 ・ (第三日)は午後二時呼解、使 ・ (第三日)は午後二時呼解、使 ・ (第三日)は午後二時呼解、使 ・ (第三日)は午後二時呼解、使 ・ (第三日)は午後二時呼解、使 ・ (第三日)は午後二時呼解、使 ・ (第一日)は午後二時呼解、使 ・ (第一日)と 霧社、緑件の域性者

大衆黨大會で可決

淺原代議士等渡臺實地調查

二川買入れ決定する旨三日農林者より養麦された、買入出所は東京大阪、神雪の九鬱所で買入僧格は強つて管示する、受遅糖既は二月十日まで、あるこ 『東京三日養電派』去る二十日米 で明込み及保護金受際、二十 日まで明込み及保護金受際、二十 日まで明込み及保護金受際、二十 一機線に配の数十日間、壁室で各時から大正水屋被で譲渡、それよ時から大正水屋被で譲渡、それよ

尾間、谷野に 轉事件

忠清南道處移

て御餐同ありにし、一大悲惨事にして多数の死傷者を出せるのみならず隔災者は忽ち寒天に衣食にも窮するの惨狀を呈し真に同情に堪へず就ては是等罹災天に衣食にも窮するの惨狀を呈し真に同情に堪へず就ては是等罹災不 大悲惨事にして多数の死傷者を出せるのみならず罹災者は忽ち寒 今次の駿豆地方に於ける大震災は往年の關東大火震災に亞ぐ稀有の

大學科は簡點体中である。
大學科は簡點体中である。
大學科は簡點体中である。
大學科は簡點体中である。
大學科は簡點体中である。
大學科は簡點体中である。
大學科は簡點体中である。
大學科は簡點体中である。

和部長に會見と十二ケ條の要求に 型成十名(四日午前十時資網代議 では、一名(四日午前十時資網代議 では、一名(四日午前十時資網代議 では、一名(四日年前十時資網代議 では、一名(四日を)の要求に

| 東京四日餐電通||四日の定郷次電舎脚は豆根地製を振金車風についく決定した|
一、高等官は。終月地二百分の一場であれば、終月地二百分の一場である。 相及び金額共簡意さす

一覧することになった 一覧することになった 一覧することになった 一覧することになった

入震災義捐金募集

實滿選手 それらい婦任 一臓前したっで、同工品微楽に百五 果 (マッグランプ)では今回囃子工果 (マッグランプ)では今回囃子工

東京電氣硝子 場にも罷業

野根フトン専門連集団流権である。 一時間中の後一齊に監燈した 一時間中の後一齊に監燈した 一時間中の後一齊に監燈した 一時間中の後一齊に監燈した 一時間中の後一齊に監燈した

駁豆地方震災義捐

何事も胸におさめて

有正宗

通都監市建大店 商谷 劉

佳

滿區小大大

日聯華高公議 報合議 計會會 計

尚連 子商連

日報に廃告し受領職に代ふ

方

枝公交德 地對TTIBE

12人は合有の戦級学术の北州 一大河 田は 関語元 金一八河



正價

一箇金流拾錢

やわ

一と骨身